

2023年3月期 決算説明資料

2023年5月11日

株式会社メイテック

代表取締役社長 グループCEO 國分 秀世

人と技術で次代を拓く

MEITEC
Engineering Firm at The Core

- 1. 2023年3月期 業績**
- 2. 新・中期経営計画[2023-2025]**
- 3. 2024年3月期 業績予想**
- 4. ご参考資料**

- では、2023年3月期 業績、
新・グループ中期経営計画3ヶ年計画、
そして2024年3月期 業績予想について、
ご説明させていただきます。

1. 2023年3月期 業績

- まず、最初に2023年3月期の業績について説明します。

2023年3月期業績 グループ連結

- ✓ 前期比で売上高は11.1%増収、営業利益は28.4%増益
- ✓ 当期純利益は、メイテック、メイテックフィルダーズの税負担軽減により、前期比で32.6%の増益

(百万円未満切捨て)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2023年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	107,140	119,069	+11,928	+11.1%	119,500	▲431
売上原価	78,917	86,360	+7,442	+9.4%	86,700	▲340
原価率	73.7%	72.5%	▲1.1%			
販売管理費	15,405	16,245	+840	+5.5%	17,000	▲755
営業利益	12,817	16,462	+3,645	+28.4%	15,800	+662
営業利益率	12.0%	13.8%	+1.9%		13.2%	+0.6%
経常利益	12,948	16,540	+3,592	+27.7%	15,900	+640
特別損益	△5	△3	+2			
税引前当期純利益	12,942	16,537	+3,594	+27.8%		
親会社株主に帰属する当期純利益	9,240	12,252	+3,011	+32.6%	10,900	+1,352
当期純利益率	8.6%	10.3%	+1.7%			
自己資本当期純利益率(ROE)	20.6%	26.6%	+6.0%			
総資産経常利益率(ROA)	16.5%	19.9%	+3.4%			

7

- グループ連結の業績です。
- 2023年3月期は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が徐々に緩和され、社会経済活動の正常化も進み、景気は緩やかな持ち直しが続いています。一方、緊迫した国際情勢、資源価格の上昇などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。
- 一方、当社の主要なお客様である大手製造業各社におきましては、技術開発投資を継続して進められていることから、当社の受注環境も堅調に推移しました。
- 結果として、売上高は、前期比11.1%増収の1,190億69百万円、営業利益は28.4%増益の164億62百万円となりました。当期純利益は、メイテック、メイテックフィルダーズともに、賃上げ促進税制適用による税負担軽減などもあり、前期比で32.6%増益の122億52百万円となりました。
- なお、売上高は、稼働時間が予想を下回ったため、予想対比で若干下回っております。

2023年3月期 グループ・セグメント

✓ エンジニアリングソリューション事業、エンジニア紹介事業共に前期比で増収増益

(百万円未満切捨て)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
エンジニアリングソリューション事業 売上高	105,715	117,456	+11,740	+11.1%
構成比	98.7%	98.6%	▲0.0%	
営業利益	12,343	15,915	+3,572	+28.9%
エンジニア紹介事業 売上高	1,530	1,681	+151	+9.9%
構成比	1.4%	1.4%	▲0.0%	
営業利益	474	547	+72	+15.3%

8

- メイテックグループ・セグメント別の業績の状況です。
- エンジニアリングソリューション事業、並びにエンジニア紹介事業共に、前年同期比で増収増益となりました。

2023年3月期業績 メイテック

- ✓ 前期比で売上高は8.8%増収、営業利益は25.3%増益、エンジニア社員数は3.1%増加
- ✓ 当期純利益は、税負担の軽減等により、前期比で33.1%の増益

(百万円未満切捨て)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2023年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	77,010	83,765	+6,754	+8.8%	83,500	+265
売上原価	56,503	60,117	+3,613	+6.4%	60,000	+117
原価率	73.4%	71.8%	▲1.6%		71.9%	▲0.1%
販売管理費	9,960	10,436	+475	+4.8%	10,800	▲364
営業利益	10,546	13,212	+2,665	+25.3%	12,700	+512
営業利益率	13.7%	15.8%	+2.1%		15.2%	+0.6%
経常利益	11,125	14,113	+2,988	+26.9%	13,600	+513
特別損益	△ 5	△ 3	+2			
税引前当期純利益	11,120	14,110	+2,990	+26.9%		
当期純利益	8,051	10,719	+2,667	+33.1%	9,600	+1,119
稼働率(全体)	94.3%	97.2%	+2.9%		96.5%	+0.7%
稼働時間(h/day)	8.42	8.38	▲0.04	▲0.5%	8.41	▲0.03
採用数(名)	628	699	+71	+11.3%	754	▲55
新卒採用数	462	474	+12	+2.6%	474	—
中途採用数	166	225	+59	+35.5%	280	▲55
退職率	5.8%	6.0%	+0.2%		5.8%	+0.2%
エンジニア社員数(名)	7,472	7,703	+231	+3.1%		

9

- メイテック単体の業績です。
- 稼働人員数の増加、平均対価の上昇により売上高は前期比8.8%増収の837億65百万円、営業利益は25.3%増益の132億12百万円、当期純利益は、税負担の軽減もあり、33.1%増益の107億19百万円となりました。
- また、エンジニア社員数は前期比で3.1%の増加となりました。
- 稼働率は、新入社員の配属ペースが前期比で改善したこと、並びに受注に速やかに応え順調に配属が出来たことなどにより、前期比で2.9%増加の97.2%となりました。
- 一方、稼働時間は前期比、期初予想比で低下していますが、これは、一部のお客さまで時間外労働が減少したためです。

2023年3月期業績 メイテックフィルダース

- ✓ 前期比で売上高は18.0%増収、営業利益は46.4%増益、エンジニア社員数は10.8%増加
- ✓ 当期純利益は、税負担の軽減等により、前期比で43.1%の増益

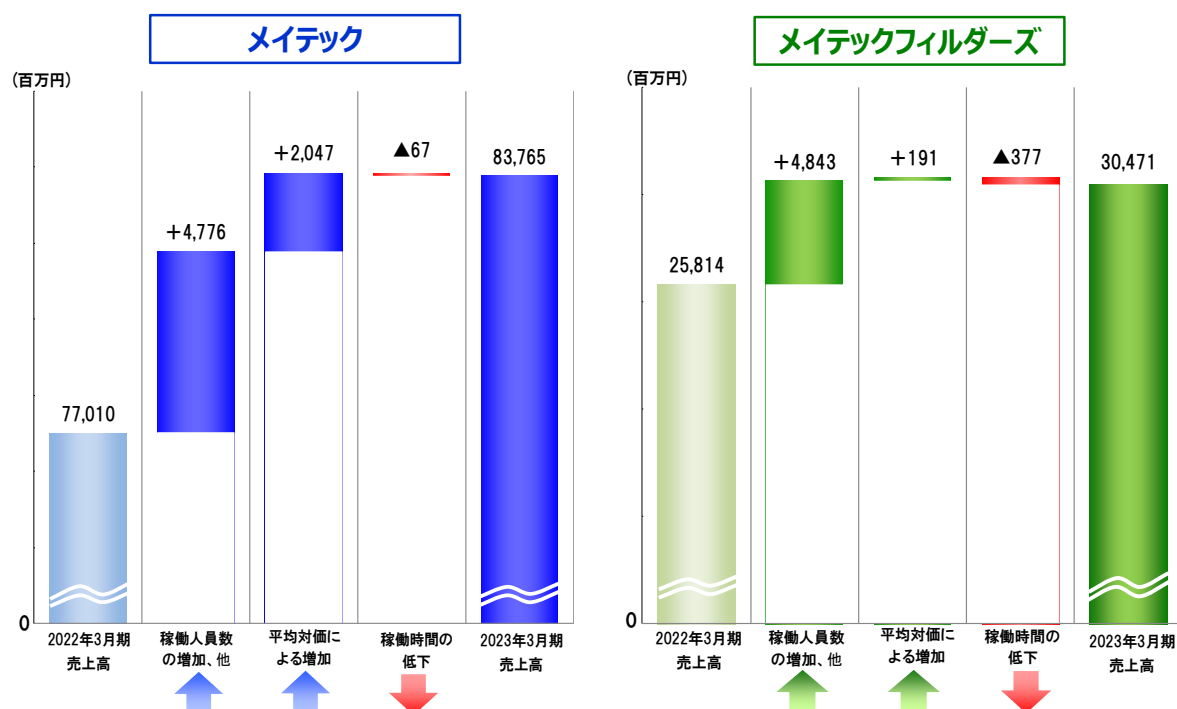
(百万円未満切捨て)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2023年3月期 通期予想	予想比 増減額
売上高	25,814	30,471	+4,657	+18.0%	31,000	▲529
売上原価	20,015	23,561	+3,545	+17.7%	23,950	▲389
原価率	77.5%	77.3%	▲0.2%		77.3%	+0.1%
販売管理費	4,067	4,375	+308	+7.6%	4,650	▲275
営業利益	1,731	2,534	+803	+46.4%	2,400	+134
営業利益率	6.7%	8.3%	+1.6%		7.7%	+0.6%
経常利益	1,732	2,535	+802	+46.3%	2,400	+135
特別損益	—	—	—			
税引前当期純利益	1,732	2,535	+802	+46.3%		
当期純利益	1,337	1,913	+576	+43.1%	1,650	+263
稼働率(全体)	89.0%	93.3%	+4.3%		93.1%	+0.2%
稼働時間(h/day)	8.39	8.26	▲0.13	▲1.5%	8.34	▲0.08
採用数(名)	913	1,008	+95	+10.4%	1,211	▲203
新卒採用数	302	411	+109	+36.1%	411	—
中途採用数	611	597	▲14	▲2.3%	800	▲203
退職率	13.5%	13.9%	+0.4%		13.0%	+0.9%
エンジニア社員数(名)	3,793	4,203	+410	+10.8%		

10

- メイテックフィルダースの業績です
- エンジニア社員の増加と稼働率の改善に伴う稼働人員数の増加などにより、売上高は前期比18.0%増収の304億71百万円、営業利益は46.4%増益の25億34百万円、当期純利益は、税負担の軽減もあり、43.1%増益の19億13百万円となりました。
- また、エンジニア社員数は前期比で10.8%の増加となりました。
- 稼働率は、前期比で4.3%増加の93.3%となりました。
- 稼働時間が低下した理由は、メイテックと同様です。

売上高前年同期比較

✓ メイテック、メイテックフィルダース共に、増収の主要因は「稼働人員数の増加」「平均対価による増加」

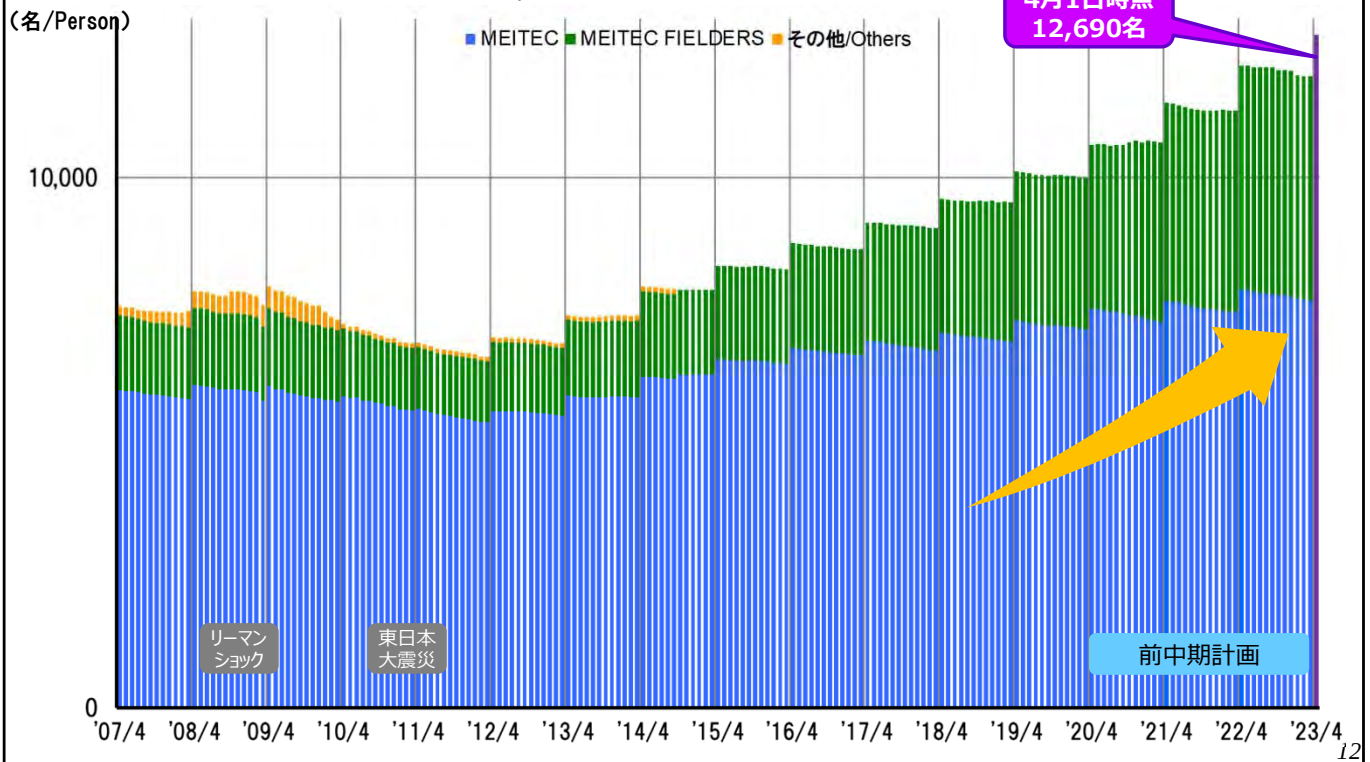


11

- 次にメイテック、メイテックフィルダースの売上高の対前年同期比増減の内訳です。
- 御覧の通り、メイテックは「稼働人員数の増加」と「平均対価の増加」の2つが大きな要因です。メイテックフィルダースは「稼働人員数の増加」が大きな要因です。

エンジニア社員数 グループ連結

- ✓ 3月末のエンジニア社員数は11,906 名（前年3月末比+641名、+5.7%）
- ✓ 4月1日時点では、過去最高の12,690名で新年度スタート

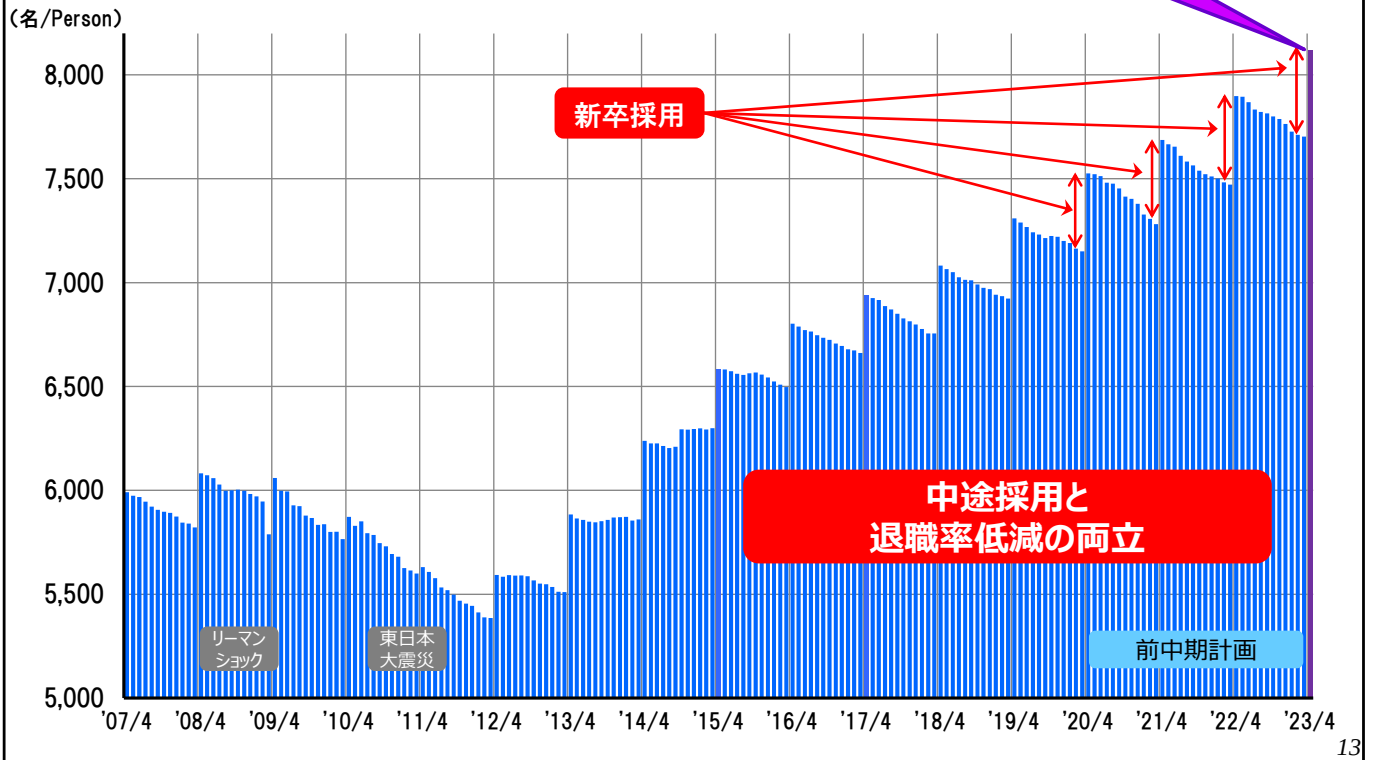


- グループのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、
前年3月末比+641名、+5.7%増の11,906名、
4月1日に新入社員をむかえ、過去最高の12,690名で新年度
をスタートしました。
- メイテック、メイテックフィルダーズ共に順調に増員ができて
おります。

エンジニア社員数 メイテック

- ✓ 3月末エンジニア社員数は7,703名（前年3月末比+231名、+3.1%）
- ✓ 4月新卒入社数は459名、過去最高の8,120名で新年度をスタート

4月1日時点
8,120名

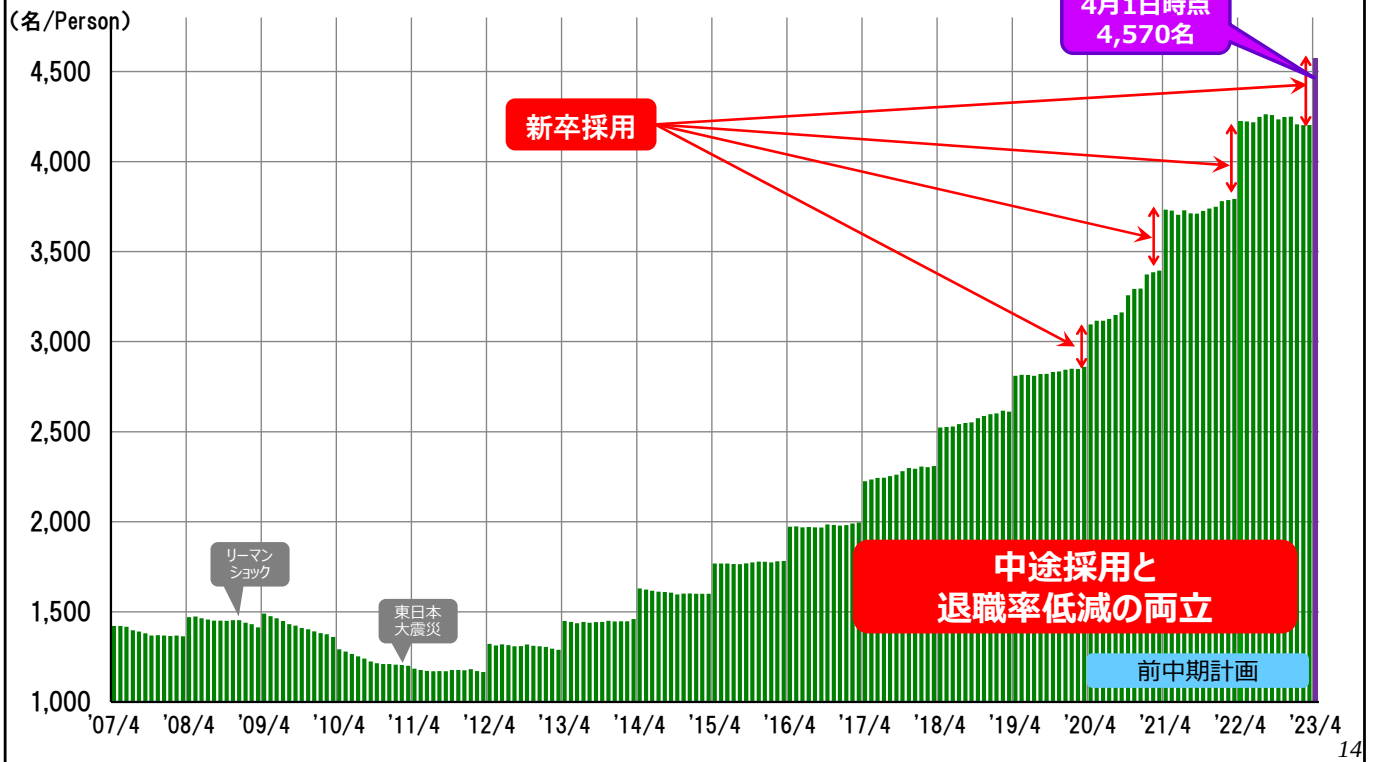


- 続いて、メイテック単体のエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、
前年3月末比+231名、+3.1%増の7,703名、
4月1日に新入社員459名をむかえ、
過去最高の8,120名で新年度をスタートしました。

エンジニア社員数 メイテックフィルダース

✓ 3月末エンジニア社員数は4,203名（前年3月末比+410名、+10.8%）

✓ 4月新卒入社数は365名、過去最高の4,570名で新年度をスタート



- メイテックフィルダースのエンジニア社員数の推移です。
- 3月末のエンジニア社員数は、前年3月末比+410名、+10.8%増の4,203名となりました。
- 4月1日に新入社員365名をむかえ、メイテック同様、過去最高の4,570名で新年度をスタートしました。

2023年3月期の採用実績

中途採用

- ✓ 高水準の求人倍率が続く過熱した市場で、中期視点に立ち、採用基準の保持に努めた
- ✓ グループ総数は、前期比でプラスに転じたが、目標未達。特に、ミドルゾーンは大激戦で苦戦
- ✓ 応募者から選ばれるために、採用部門と地域営業部門との連携をもっと高めなければならない、と認識

新卒採用

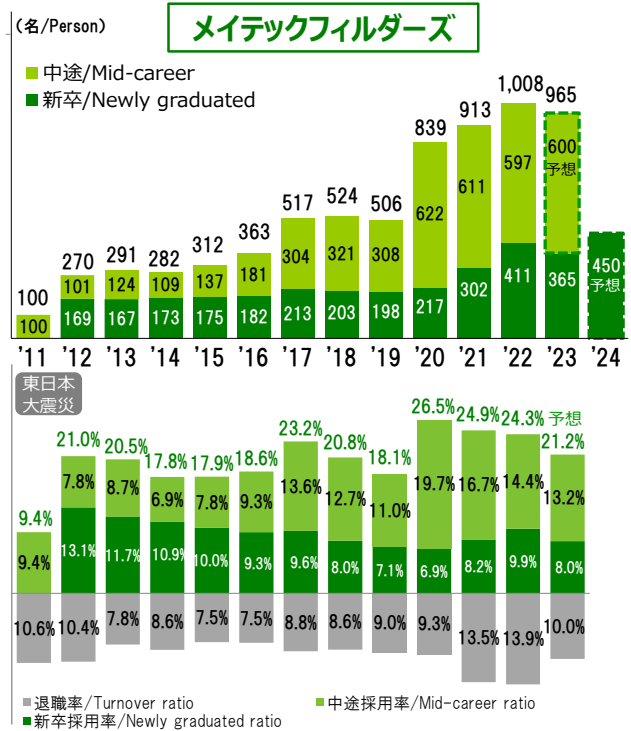
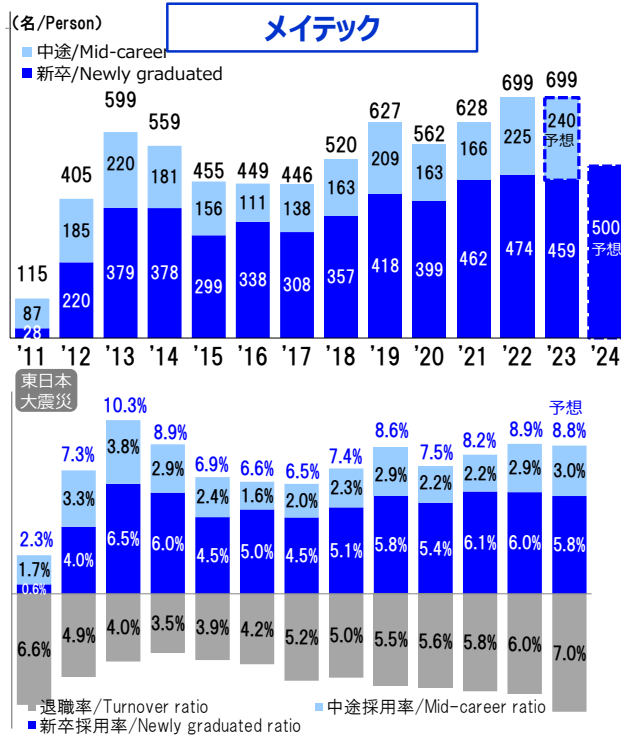
- ✓ 企業の新卒採用意欲は非常に強い状況が続く中、中期視点に立ち、採用基準の保持に努めた
- ✓ 強い地元志向の継続で採用数確保が難しい中、新卒採用の扉が開いている時間も長くなり、10月の内定者数から減少し、さらに苦戦を強いられた

(名)	2023年3月期(2022年度)						2024年3月期(2023年度)					
	22年4月入社 新卒採用数	中途採用数			採用数 合計	前期比	23年4月入社新卒採用数					前期比
		期初予想		期初予想比			期初予想	10/27公表 内定者数		期初予想比		
メイテック	474	280	225	▲55	699	+71	500	483	459	▲41	▲15	
メイテック フィルダース	411	800	597	▲203	1,008	+95	450	391	365	▲85	▲46	
合計	885	1080	822	▲258	1,707	+166	950	874	824	▲126	▲61	
22年3月期比	+121		+45		+166			10/27公表比	▲50			

15

- ・ 次に、採用の状況です。
- ・ まず、中途採用です。
- ・ 高水準のエンジニア求人ニーズに衰えは見られず、依然として厳しい状況が継続しました。
- ・ 当社としては中期的な視点に立ち、採用基準の保持に努めた採用活動を実施しましたが、苦戦を強いられました。結果として、期初予想比でメイテックは▲55名の225名、メイテックフィルダースは▲203名の597名となり、メイテックグループ全体では822名の採用となりました。決して少ない水準ではありませんが、期初計画に対しては未達という結果です。
- ・ 次に、新卒採用です。
- ・ 企業の採用意欲は非常に高く、採用市場における競争環境の厳しさは増している状況です。採用基準は保持しつつ、採用活動を実施してきましたが、強い地元志向の継続もあり、苦戦を強いられました。結果として、期初予想比でメイテックは▲41名の459名、メイテックフィルダースは▲85名の365名となりました。グループ全体では、こちらも決して低い水準ではなく、824名の採用実績でした。

✓ 採用環境は厳しいが採用基準は保持

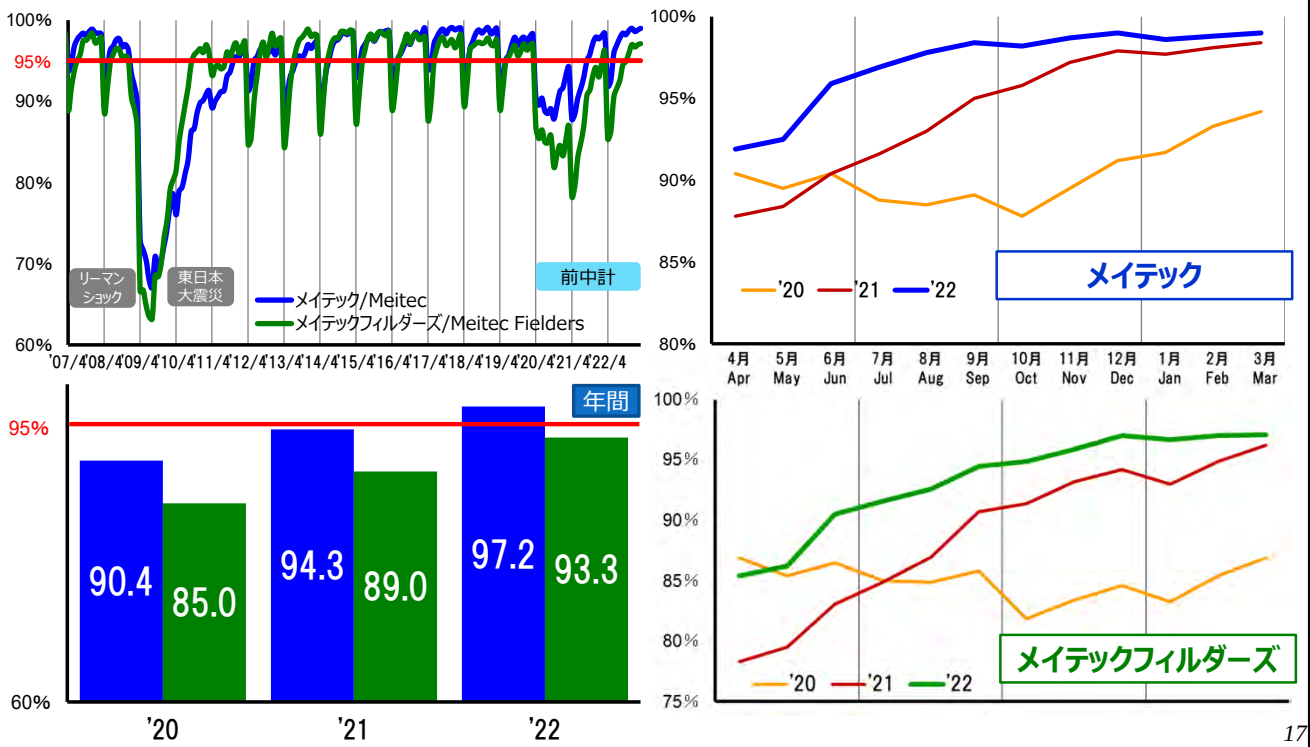


16

- 採用者数と採用率・退職率の推移です。
- メイテックの2022年度の採用率は8.9%で、伸び率は昨年より増加しました。退職率は6.0%で、引き続き低い水準を維持し、増員に寄与しました。
- メイテックフィルダーズの2022年度の採用率は24.3%で、伸び率は昨年より若干減少しておりますが、高い水準です。
- 退職率は13.9%で前年並みで推移しました。
- 2023年度の予想は、昨年に引き続き、メイテックフィルダーズのキャリア採用者数の増加を見込んでいます。詳細については、のちほど説明します。

稼働率

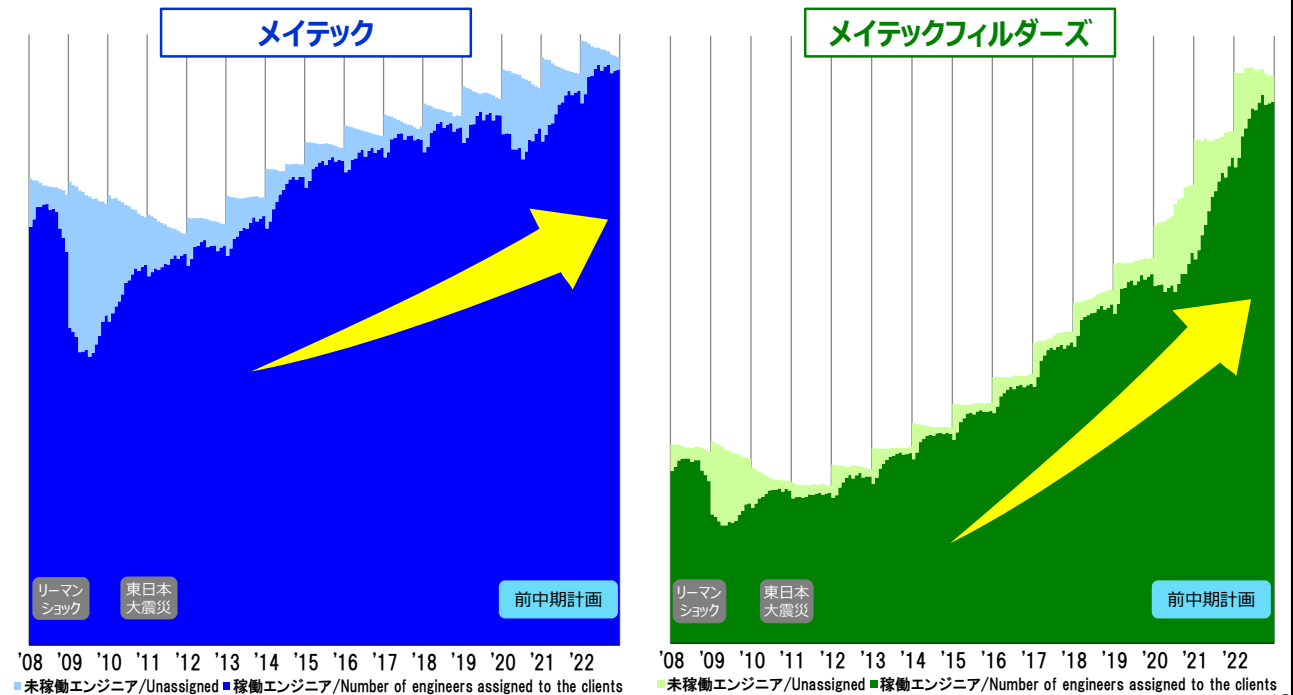
✓ 稼働率は順調に推移⇒受注に応じて、エンジニア社員の配属を進めたため



- 稼働率の推移です。
- メイトック、メイトックフィルダース共に、期初から、前年より高い水準でスタートしたことと、受注に応じて速やかに配属を促進し、新入社員の配属ペースが改善したこと等により、稼働率は順調に推移しました。
- 右側のグラフの通り、4月のスタートの段階では高い水準からスタートし、また、継続して配属を促進したことによって、順調に推移しました。

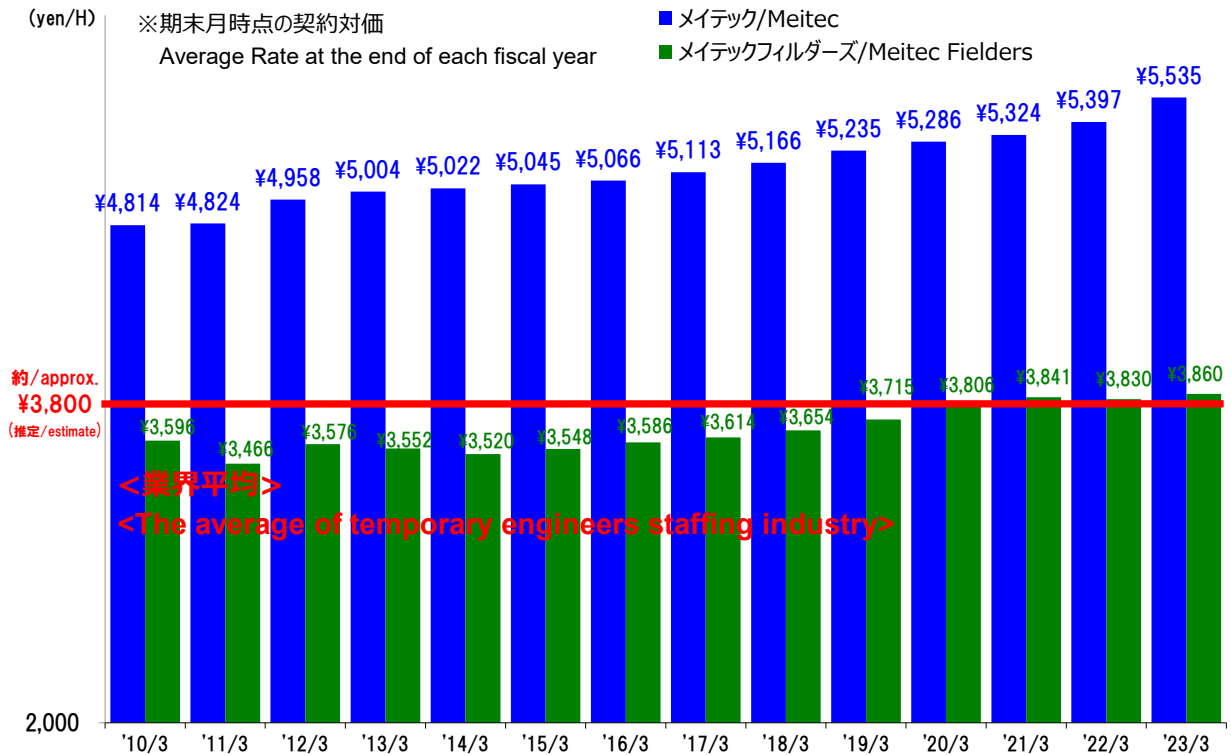
稼働人員数(売上の主要素)

- ✓ 積極採用でエンジニア社員数は増加、また、受注に応じて配属を進めた結果、稼働人員数も増加



18

- 稼働人員数の推移です。
- 「エンジニア社員数の増加」を継続しつつ、配属を促進した結果、稼働人員数はメイテック、メイテックフィルダース共に、順調に伸びています。

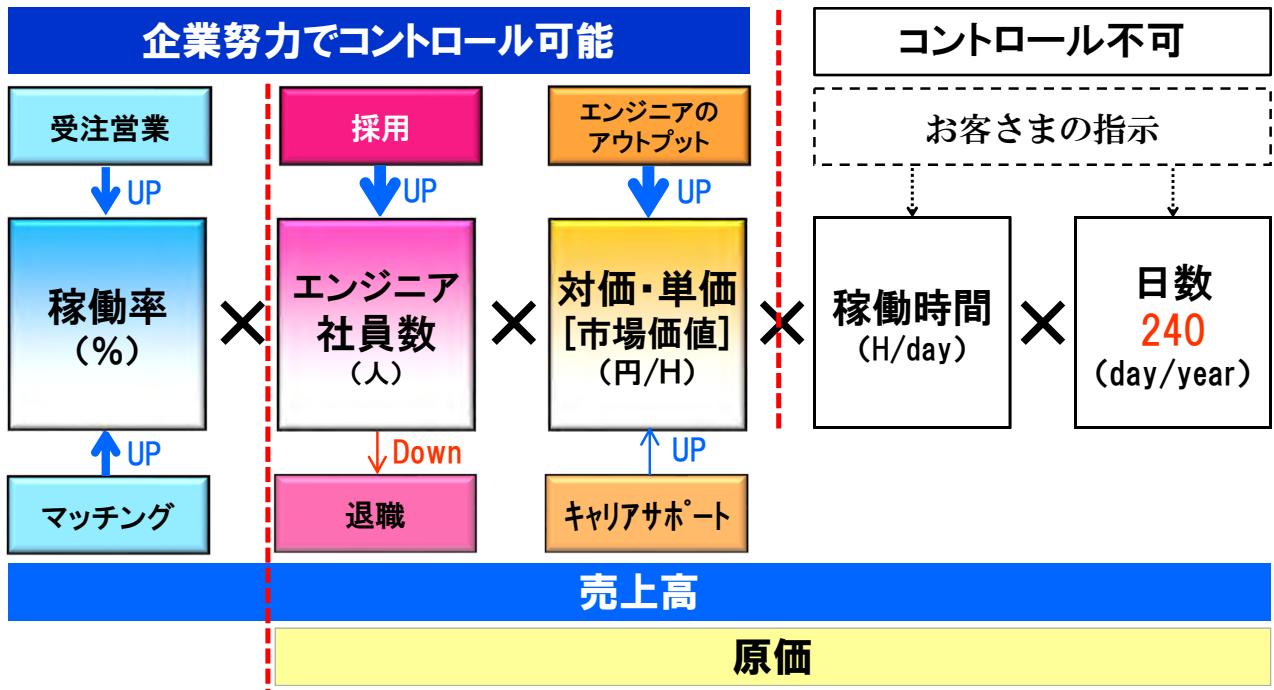


19

- 対価の推移です。
- メイテックは高い付加価値を追求した結果、対価は5,500円を超える水準まで高まりました。
これを維持するためには、採用基準の堅持は不可避で、同時にエンジニア個々の技術力の向上、キャリア形成をいかにキャリアサポートしていくのかということが重要です。
- メイテックフィルダーズの対価も、3,800円以上で、業界平均を上回っています。
これからもグループとして、需要と供給の関係に拠る対価獲得ではなく、一人ひとり個々のアウトプット、パフォーマンスに基づいた適正な対価を、景況がいいときも悪いときも、引き続きお客様に訴求・交渉し、獲得していくことに取り組んでいきたいと思っています。

売上高・原価の概要

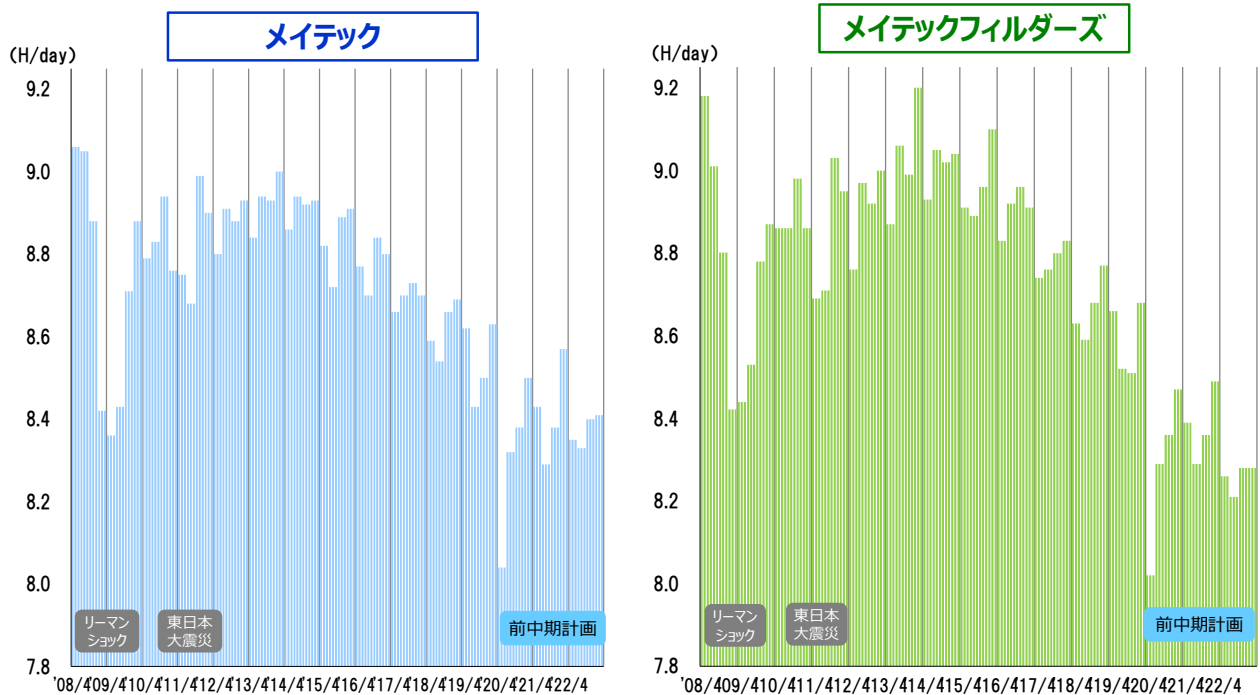
✓ 「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵



20

- 派遣型エンジニアリングソリューション事業の売上高・原価の構成要素は御覧の通りです。
- 大きな指標は5つです。そのうち、経営としては3つの指標、稼働率・エンジニア社員数・対価向上、を高めていくことに取り組んでおります。

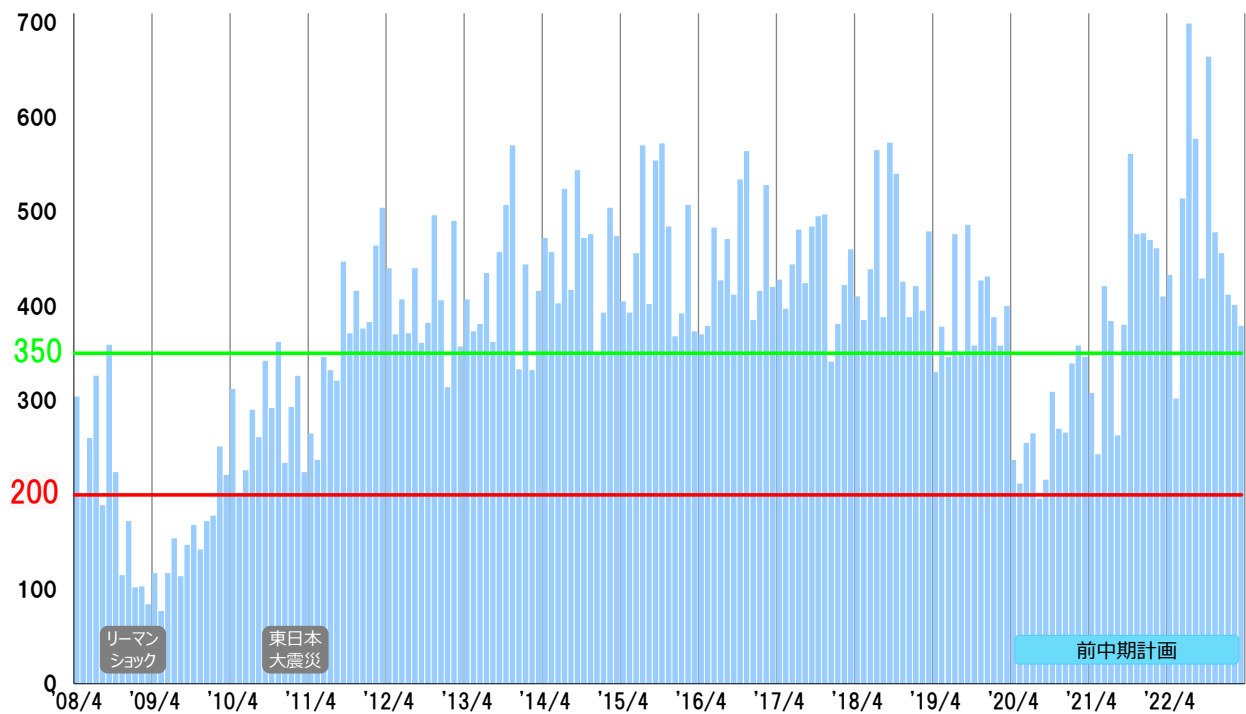
✓ 時間外労働の減少を背景に前年比で低下



21

- 次に稼働時間の推移です。
- 時間外労働の減少を背景に、メイテック、メイテックフィルダーズ共に、前期比で若干減少しました。
- 稼働時間は、お客さま先の業務指示でございますので、
- ノンコントロールではありますが、稼働時間0.1時間の変動で売上高は約1%の変動要因となっていますので、今後も業績にかかわる大きな指標として、注視していきます。
- では、今後この稼働時間が元に戻るのかということですが、各企業様における働き方改革は継続されており、世の中の趨勢としてこれが従前のように9時間に及ぶような数字に戻るとは見ておりません。

✓ メイテック単体の月間新規受注は堅調に推移



22

- 月間新規受注動向の推移です。
- メイテックのお客様は、長い視点での技術開発投資を継続されております。したがって、当社の積極的な営業展開も相まって、月間約350件を超える新規受注件数をいただいております、非常に堅調に推移しました。
- 引き続き、攻めの営業を行いながら、新規受注の獲得、そして配属促進を行って、よりお客さまに対する高い付加価値のサービスを提供してまいりたいと考えております。

お客さまの売上TOP10 メイテック

✓ お客さま（個別企業）に関する事項および具体的計数の公表は差し控えます

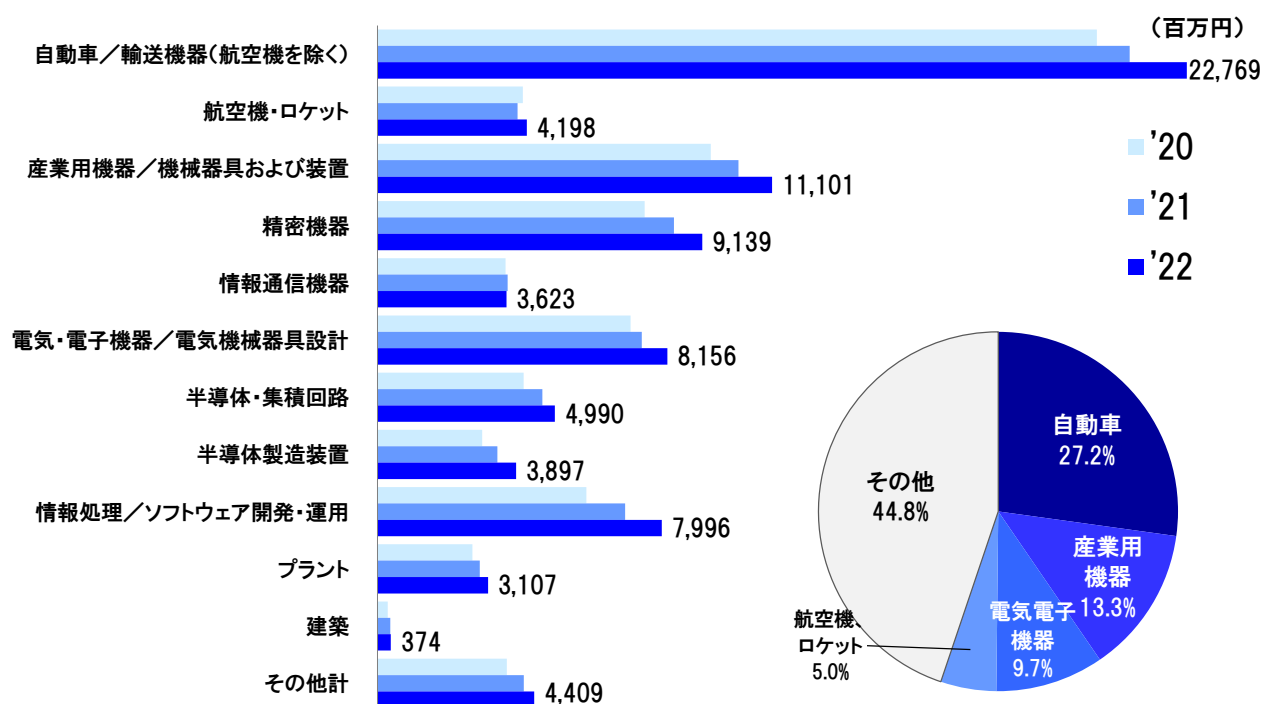
(百万円)

2018年3月期（2017年度）			2022年3月期（2021年度）			2023年3月期（2022年度）		
1	三菱重工業 様		1	デンソー 様		1	デンソー 様	
2	デンソー 様		2	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様		2	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様	
3	キャノン 様		3	三菱重工業 様		3	三菱重工業 様	
4	パナソニック 様		4	パナソニック 様		4	ニコン 様	
5	トヨタ自動車 様		5	ニコン 様		5	日立ハイテク 様	
6	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様		6	トヨタ自動車 様		6	デンソーテン 様	
7	ニコン 様		7	日立ハイテク 様		7	トヨタ自動車 様	
8	オートリブ 様		8	SUBARU 様		8	SUBARU 様	
9	本田技術研究所 様		9	デンソーテン 様		9	パナソニック 様	
10	オムロン 様		10	テルモ 様		10	ヤマハ発動機 様	
トップ10社合計	17,654	24.4%	トップ10社合計	18,937	24.6%	トップ10社合計	19,608	23.4%
トップ20社合計	25,282	35.0%	トップ20社合計	27,186	35.3%	トップ20社合計	28,465	34.0%
その他	46,970	65.0%	その他	49,824	64.7%	その他	55,299	66.0%
合計	72,252	100.0%	合計	77,010	100.0%	合計	83,765	100.0%

23

- お客さまの売上TOP10です。
- 御覧の通り、若干順位に変動はありますが、大きな変化はありません。
ただし、各お客さまの業務内容は5年前、昨年と比べて大きく変化しています。
- 技術の進化は加速しており、お客さまも新しい技術を取り入れた製品や技術開発を進められています。
- 当社は、常に新しい技術領域へ意図的にエンジニアのローテーションを実施し、エンジニアのキャリア形成を図り、かつ、技術力を高めつつ、お客さまに対する付加価値を高めていく取り組みを続けています。
- 特定のお客さまに偏ることなく、幅広くサービスを展開することは、まさしくメイテックグループの強みですので、これからもその強みを生かしてまいりたいと考えています。

✓ お客さま（個別企業）別の内訳や見通しの公表は差し控えます（計数はご参考資料に掲載）



24

- 業種別の売上高です。
- 御覧の通り、一番上の自動車関連、いわゆる「CASE」「MaaS」関連、3番目の産業用機器、そして、中段の電気・電子機器、並びに情報処理／ソフトウェア等、世の中の技術開発の動向にあわせて、攻めの営業を行った結果です。
- 今世の中で求められている技術革新においては、モビリティ分野の「CASE」、「MaaS」あるいは「ICT」、そして「ロボティクス」等、様々なキーワードがございますが、これらの分野に対し、攻めの営業・受注活動・成約というものを行いながら取り組んできたという状況です。
- 以上、2023年3月期通期業績について、ご説明しました。

2. 新・中期経営計画〔2023～2025〕

- 続いて、今年度から始めます
新・中期経営計画、3か年計画についてご説明申し上げます。

		中期計画 当初目標	2022年度 実績	目標差	達成率
グループ 連結	売上高	1,350億円	1,190億円	▲160	▲11.9%
	営業利益	180億円	164億円	▲16	▲8.9%
	営業利益率	13%	13.8%	+0.4%	
	当期純利益	120億円	122億円	+2	+1.7%
	ROE	25%以上	26.6%	+1.6%	
メイテック	売上高	900億円	837億円	▲63	▲7.0%
	営業利益	135億円	132億円	▲3	▲2.2%
	営業利益率	15%	16%	+1.0%	
メイテック フィルダース	売上高	400億円	304億円	▲96	▲24.0%
	営業利益	36億円	25億円	▲11	▲30.6%
	営業利益率	9%	9%	—	
エンジニア 紹介事業	売上高	25億円	16億円	▲9	▲36.0%
	営業利益	8億円	5億円	▲3	▲37.5%
	営業利益率	32%	32%	—	

26

- 前中期計画「The Transformation」についてご説明申し上げます。
- 2020年5月に発表いたしました3か年計画前中期計画「The Transformation」は、経営チームとして、強い意志をもって中長期的な戦略を示すものでした。
- ただし、2020年の年初から始まった新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、3か年に及ぶ景況の悪化、それに伴う受注環境の悪化がございました。
- また、社員の安心・安全・健康を最優先とするための研修体系や事業活動のオペレーションの変更も実施したため、配属遅延等の影響により、目標に対しては売上高、営業利益の額が下回りました。
- それ以前の推移に比べて高い成長率は実現できたと自負しております。
- そういった中で、自己資本の質と量を堅持し、効率的な経営を行った結果、ROEおよび営業利益率の目標は達成することができました。

メイテックグループは 2つのThe Coreを 変革します

The Core

1. 製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を創り出す存在であること
2. 世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

27

- 続いて、新中期経営計画についてご説明申し上げます。
- 新中期経営計画につきましては、3か年計画にさせていただきます。
- 「2つのThe Coreを変革する」ということをテーマにしております。
- 製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を作り出す存在としてのThe Core、
- そして、エンジニアというプロフェッショナルな働き方を世の中に対して提供していく、「大事な、欠かせない」存在としてのThe Core、
- この2つが、メイテックグループとしての競争優位性として重要な部分だと思っています。
- したがってこの2つのコアを変革していく、ということに3か年で取り組んでまいります。

多くのお客さまで共通するマテリアリティ



M2CX

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、エンジニア集団です

The Core

1. 製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を創り出す存在であること
2. 世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

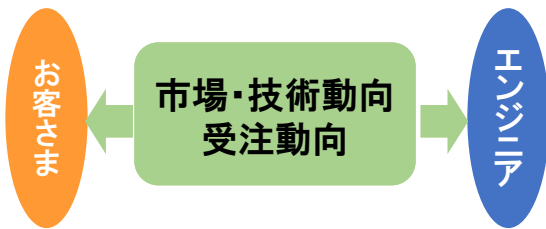
Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、エンジニア集団です

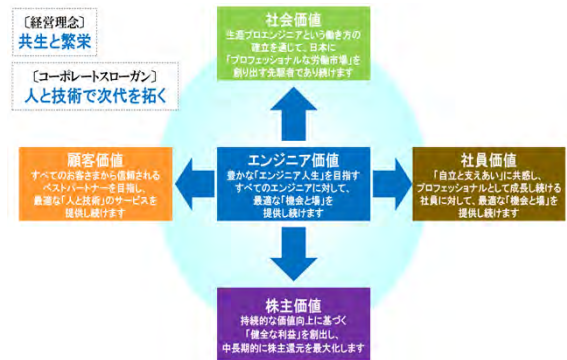
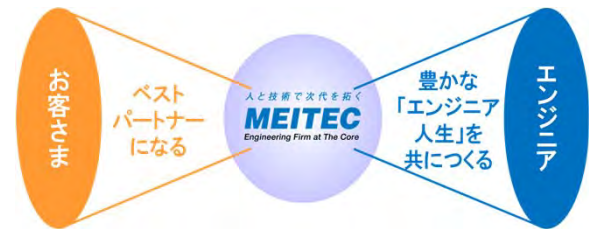


- 具体的には「MEITEC 2 Core Transformation」、
「M2CX」という名称として取り組んでいきます。
- これにより、お客様と一緒に社会課題に
取り組んでいきます。
- お客様はサステナビリティ社会実現のために、
SDGsという開発目標に取り組まれています。
こういった中で多くのお客様で共通するマテリアリティ、
すなわち重要課題というものに対し、
メイテックグループとして価値を提供してまいります。

つねに起点



たえず双方向



- 基本方針は、日々進化する市場・技術動向、そして、受注動向を常に起点とし、営業・採用・キャリアサポート、この3機能を常に連動・連関した状態で、お客様とエンジニアのデマンドに応え続けていく、こういった取り組みをTransformationしていく、ということです。
- 双方向に価値提供を行うことにより、価値の連鎖を生み出し、5つの価値を向上させていきます。

1

①2つのサービス提供先オリエンテッド、と
②多彩なサービスバリエーション、を掛け合わせ、
更なる付加価値を積極追求

2

品質を堅持しつつ、「数の力量」を積極増強

3

①エンゲージメント強化、②適格性の効率追求、
③運用費用縮減、を同期させて強力に推進

30

- 具体的には、3つの方針を掲げております。
- 1つ目は、お客様、エンジニアの2つの価値提供先へ、当社グループの多彩なサービスを掛け合わせることで、更なる付加価値を追求すること
- 2つ目は、品質を堅持しつつ、「数の力量」を積極的に増強すること
- 3つ目は、エンゲージメントの強化、適格性の効率追求、並びに運用費用の縮減、です。
- この3つを、同期させて強力に推進してまいります。

2025年度 収益目標	グループ連結	エンジニアリングソリューション事業		エンジニア 紹介事業
		メイテック	メイテックフィルダーズ	
売上高	1,450億円	950億円	445億円	18億円
営業利益	190億円	143億円	45億円	6億円
営業利益率	13%	15%	10%	33%
当期純利益	130億円			
ROE	30%			

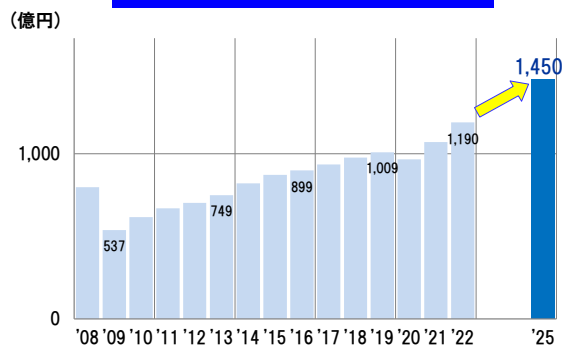
31

- 3ヶ年の収益目標です。
- 2025年度の収益目標はグループ連結では、売上高1,450億円、営業利益は190億円、営業利益率は13%、当期純利益は130億円、ROEは30%以上としました。
- 過去最高水準の売上、営業利益、営業利益率を目指します。

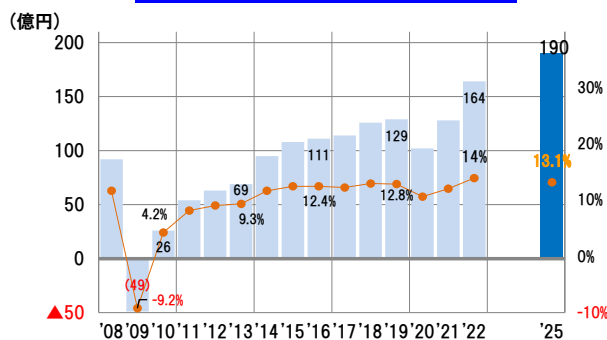
収益目標(2)

M2CX

連結・売上高



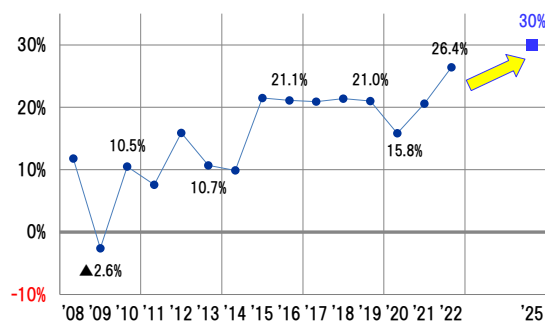
連結・営業利益と利益率



連結・当期純利益と利益率



連結・ROE



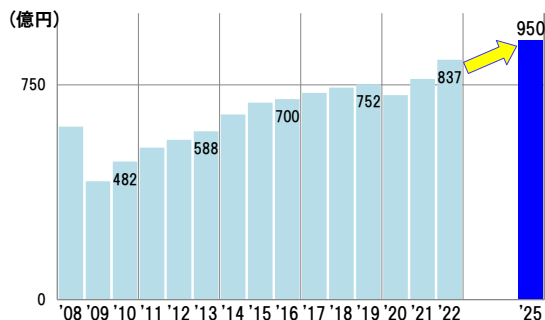
32

- 具体的な内訳については、次の図表になりますが、左上が売上高、右上が営業利益でございます。それぞれお示しの通り、高い成長率で目標を実現してまいりたいと考えております。

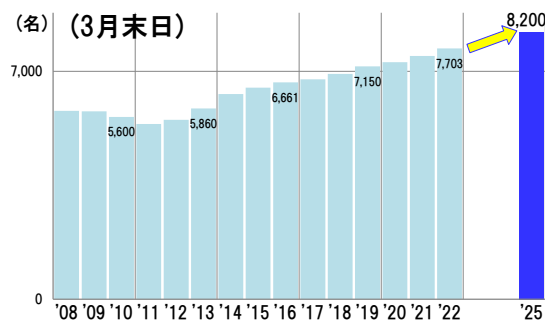
メイテック

2つのサービス提供先の
価値向上業務に集中・加速

売上高

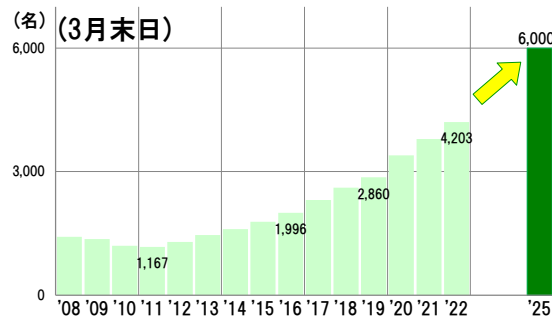
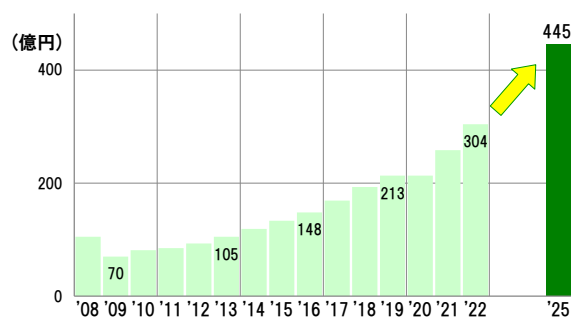


エンジニア社員数



メイテックフィルダーズ

ミドル領域No.1の確立
スピードアップ（拡大・移転・決断）に邁進



- ・ 次にメイテック並びにメイテックフィルダーズを左右でお示しさせていただきます。
- ・ メイテックは売上高950億円、エンジニア社員数8,200名、
- ・ メイテックフィルダーズは売上高445億円、エンジニア社員数6,000名を目指します。

1.組織形態

監査等委員会設置会社

2.取締役会の構成など

- A) 取締役は10名程度
- B) 独立社外取締役は過半数
- C) 社内取締役は2名以上
- D) ジェンダー・男女の比率を、それぞれ10%以上
- E) 監査等委員でない取締役の員数
≥ 監査等委員である取締役の員数
- F) 独立社外取締役は最長8年まで
- G) 独立社外取締役の兼任は、
当社を含めて上場企業3社以内

3.独自の取り組み:役員人事諮問委員会

委員長 独立社外取締役

委員 CEOと独立社外取締役全員

プロセスの適正性の評価

- ・代表取締役CEOの選解任
- ・取締役候補者の指名
- ・社内業務執行取締役のパフォーマンス評価と報酬

4.役員報酬

取締役の固定報酬

代表、社長、グループCEO	年額	28,800千円	(月額 2,400千円)
副社長	年額	24,000千円	(月額 2,000千円)
社内業務執行	年額	19,200千円	(月額 1,600千円)
監査等委員会の長	年額	24,000千円	(月額 2,000千円)
独立社外	年額	10,800千円	(月額 900千円)

社内業務執行取締役(のみ)に対する業績連動報酬など

連結当期純利益(業績連動 役員報酬を含まない)金額の	2.5%以内 上限:年額250百万円
うち税引後の20%相当額を	自社株式取得に充当 (役員持株会方式)

独立社外取締役と監査等委員である取締役は支給対象外

34

- ・ 続いて、コーポレートガバナンスについてご説明します。
- ・ 既にリリースしております通り、
今年の10月に持株会社体制、並びに
監査等委員会設置会社に移行させていただきます。
- ・ 移行後のコーポレートガバナンス体制については、
お示ししている通りです。
- ・ 5つの価値の持続的向上と、
コーポレートガバナンスの強化を図りながら、
持続的成長と企業価値向上を目指し、
取り組んでまいります。
- ・ 以上、3ヶ年の中期経営計画をご説明しました。

3. 2024年3月期 業績予想

- その上で、次に2024年3月期の業績予想について説明します。

2024年3月期業績予想 グループ連結

- ✓ 売上高は前期比+6.2%の1,265億円、営業利益は同比+2.0%の168億円
- ✓ 販売管理費は同比+9.0%⇒採用関連費用の増加を見込む
- ✓ 当期純利益は同比▲6.1%の115億円⇒前期と同じ税負担軽減は見込めないため

(百万円未満切捨て)	'24年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	126,500	+7,430	+6.2%	62,400	+4,370	+7.5%	64,100
売上原価	92,000	+5,639	+6.5%	45,800	+3,442	+8.1%	46,200
販売管理費	17,700	+1,454	+9.0%	8,800	+711	+8.8%	8,900
営業利益	16,800	+337	+2.0%	7,800	+215	+2.8%	9,000
営業利益率	13.3%	▲0.5%		12.5%	▲0.6%		14.0%
経常利益	16,800	+259	+1.6%	7,900	+264	+3.5%	8,900
親会社株主に帰属する当期純利益	11,500	▲752	▲6.1%	5,200	+92	+1.8%	6,300
1株当たり当期純利益(EPS)	146.64	▲7.23		66.31	+2.57		

37

- グループ連結の業績予想です。
- 売上高は前期比+6.2%の1,265億円、
- 営業利益は前期比+2.0%増益の168億円、
- 当期純利益は前期と同じ税負担軽減を見込めないため、
▲6.1%減益の115億円としました

2024年3月期業績予想 メイテック

- ✓ 売上高は前期比+4.5%、営業利益は同比▲0.1%、当期純利益は同比▲3.9%の予想
- ✓ 販売管理費は同比+10.2%⇒採用関連費用の増加などを見込む

(百万円未満切捨て)	'24年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	87,500	+3,734	+4.5%	43,400	+2,500	+6.1%	44,100
売上原価	62,800	+2,682	+4.5%	31,500	+1,865	+6.3%	31,300
原価率	71.8%	+0.0%		72.6%	+0.1%		71.0%
販売管理費	11,500	+1,063	+10.2%	5,800	+623	+12.0%	5,700
営業利益	13,200	▲12	▲0.1%	6,100	+11	+0.2%	7,100
営業利益率	15.1%	▲0.7%		14.1%	▲0.8%		16.1%
経常利益	14,400	+286	+2.0%	7,400	+413	+5.9%	7,000
当期純利益	10,300	▲419	▲3.9%	5,200	+262	+5.3%	5,100
稼働率(全体)	97.3%	+0.1%		96.0%	+0.4%		98.6%
稼働時間<h/day>	8.38	—		8.34	—		8.42
採用数<名>	699	—		2024年4月入社の 新卒採用目標数		23年4月 実績比	
新卒採用数	459	▲15					
中途採用数	240	+15					
退職率	7.0%	+1.1%		500		+41	

38

- メイテック単体の業績予想です。
- 売上高は前期比+4.5%増収の875億円、
営業利益は前期比▲0.1%減益の132億円としました。
- 営業利益の減益見通しの理由は、主に販管費の増加です。
- 販管費は、採用関連費用等の増加を見込み、
前期比+10.2%の115億円としています。
- 当期純利益は、前期と同じ税負担軽減を見込めなかったため、
前期比▲3.9%減益の103億円としました。

2024年3月期業績予想 メイテックフィルダース

- ✓ 売上高は前期比+11.6%、営業利益は同比+12.4%→早期配属と稼働人員数の増加を見込む
- ✓ 販売管理費は同比+7.4%⇒採用関連費用の増加などを見込む

(百万円未満切捨て)	'24年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 予想	前期比 増減額	前期比 増減率	下半期予想 3Q+4Q
売上高	34,000	+3,528	+11.6%	16,600	+1,912	+13.0%	17,400
売上原価	26,450	+2,888	+12.3%	12,950	+1,535	+13.5%	13,500
原価率	77.8%	+0.5%		78.0%	+0.3%		77.6%
販売管理費	4,700	+324	+7.4%	2,300	+128	+5.9%	2,400
営業利益	2,850	+315	+12.4%	1,350	+248	+22.5%	1,500
営業利益率	8.4%	+0.1%		8.1%	+0.6%		8.6%
経常利益	2,850	+314	+12.4%	1,350	+247	+22.5%	1,500
当期純利益	1,950	+36	+1.9%	900	+142	+18.8%	1,050
稼働率(全体)	94.4%	+1.1%		92.6%	+2.4%		96.1%
稼働時間<h/day>	8.26	—		8.24	—		8.29
採用数<名>	965	▲43		2024年4月入社の 新卒採用目標数		23年4月 実績比	
新卒採用数	365	▲46					
中途採用数	600	+3					
退職率	10.0%	▲3.9%		450		+85	

39

- メイテックフィルダースの業績予想です。
- 売上高は前期比+11.6%増収の340億円、
営業利益は、前期比+12.4%増益の
28億5千万円としました。
- 販管費は、採用数の増加を目指しているため、
前期比+7.4%の増加を見込んでいます。
- 当期純利益は、メイテック同様に
税負担軽減を見込めないため、
前期比+1.9%増益の19億5千万円としました。

2024年3月期の採用目標

中途採用

- ✓ 過去最高の求人数で推移しているが、最先端技術に携わる設計開発業務を遂行するために、採用基準の保持に注力は継続
- ✓ スカウト型採用の台頭で採用手法が激変した中、膨大なスカウトメールを受ける個人から判断が面倒だ、との声も聞こえはじめているため、引き続き個人へ寄り添う接点づくりを大切に目標達成に努めていく

新卒採用

- ✓ 売り手市場の新卒採用は、活動の早期化と長期化が混ざり合い、学生の活動がますます多様化する中で、コロナ禍明けの対面復活が加速していく難しい運営を想定
- ✓ 生涯プロフェッショナルとして職業を軸にした働き方を訴求し続けながら、自ら成長するために挑戦する意欲を重視した採用基準を保持して目標達成に努めていく

(名)	2024年3月期					2025年3月期	
	23年4月入社 新卒採用数 (実績)	中途採用数		採用数合計		24年4月入社 新卒採用数	
		<目標>	前期比	<目標>	前期比	<目標>	前期比
メイテック	459	240	+15	699	—	500	+41
メイテック フィルダーズ	365	600	+3	965	▲43	450	+85
合計	824	840	+18	1,664	▲43	950	+126

40

- 続いて、採用目標です。
- 中途採用目標数は、メイテックは240名、メイテックフィルダーズは600名を目論んでいます。
- 採用環境は非常に厳しい状況が続いていますが、最先端技術に携わる設計開発業務を遂行するためには、採用基準の堅持を継続し、個人1人1人との接点づくりを大切にしながら、積極採用を進めてまいります。
- 2024年4月の新卒採用については、昨年実績を上回る採用目標数としています。
- 新聞記事によりますと、大卒採用目標数ランキングでは、日本企業全体で見た場合には24番目、そして理工系学生だけで見た場合には3番目の規模であり、非常に高い水準です。
- 高い目標ですが、当社グループにおける、生涯プロフェッショナルという働き方を訴求しながら、多くの方々をメイテックグループの一員としてお迎えできるように、達成したいと考えています。

利益配分に関する基本方針

✓ 新中期計画の利益配分は、資本と資金の質と量の充実度を踏まえ、既定方針に従う

2018年11月改定
2017年5月改定
2011年5月改定
利益配分方針

1. 自己資本の“質と量”が充実していること
2. 資金残高が事業運営上の必要資金*を上回っていること
(*連結売上高の月商3ヶ月分)

総還元性向：100%以内を原則

配当

業績連動型配当：連結当期純利益の50%以上

最低限の配当：連結株主資本配当率(DOE)5%

**自己株式の
取得・
保有・消却**

取得：総還元性向と配当性向の水準を勘案して適宜実施

保有：発行済総数の5%を上限

消却：上限超を当期末までに消却

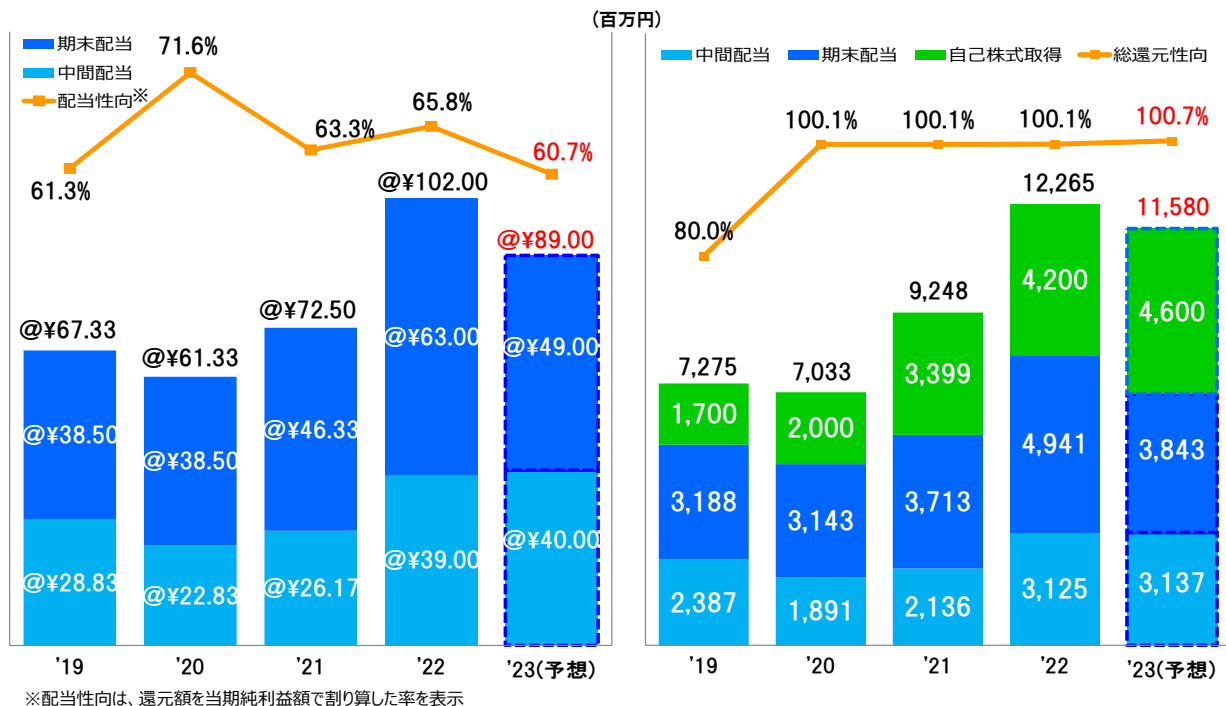
✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

41

- 続いて利益配分についてです。
- 現時点で、自己資本の“質と量”は概ね充実している認識です。
したがって、新中期経営計画においても、基本方針に則して総還元性向は、100%以内と考えています。

利益配分の実績と予想

- ✓ 2022年度の期末配当は63円、中間配当39円と合わせて年間配当金は102円
- ✓ 2023年度予想、総還元性向100% = 配当性向60% + 自己株式取得40%、年間配当@89円



- 最後に、利益配分の実績と予想です。
- 2023年3月期の期末配当は、当期純利益が業績予想を上回ったため、昨年10月に公表した配当予想の一株当たり45円から18円引き上げて、63円で、株主総会へ上程します。
- 中間配当金39円と合わせて年間配当金は102円となり、29円50銭の増配となります。
- 今年度の予想は、基本方針に即し、総還元性向100%以内を原則とします。
- 先ほどご説明した通り、当期純利益の予想は115億円ですので、普通配当は年間総額約69億円で一株当たり89円の予想、自己株式取得は46億円の予想とします。
- 私からのご説明は以上でございます。
今後も皆様のご期待に沿えるよう、そして今後もメイテックグループがより成長できるように努力して参ります。引き続き、ご理解、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。
ご清聴、ありがとうございました。

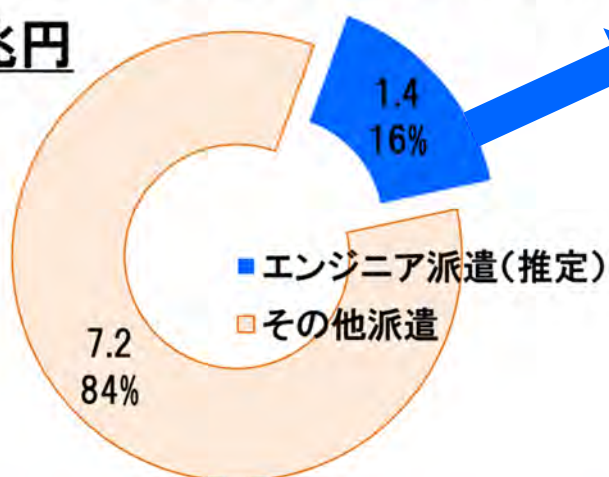
4. ご参考資料

43

エンジニア派遣市場(推定)

2020年度の労働者派遣事業・売上高

8.6兆円

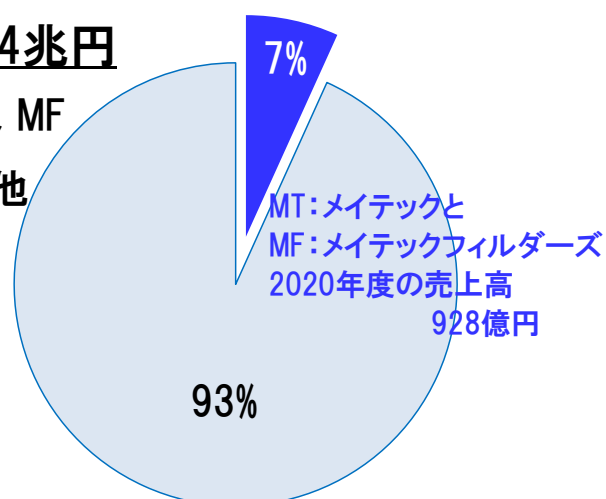


エンジニア派遣市場(推定)

推定1.4兆円

■ MT & MF

□ その他



2023年3月

メイテック

¥5,535

メイテックフィルダーズ

¥3,860

エンジニア派遣
(推定)

約¥3,800

44

2023年3月期業績 各社別

		エンジニアリングソリューション事業				エンジニア紹介事業
(百万円未満切捨て)		メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高		83,765	30,471	3,331	334	1,681
	前期比 増減額	+ 6,754	+ 4,657	+ 333	+ 14	+ 151
	前期比 増減率	+ 8.8%	+ 18.0%	+ 11.1%	+ 4.5%	+ 9.9%
営業利益		13,212	2,534	230	△0	547
	前期比 増減額	+ 2,665	+ 803	+ 40	+ 4	+ 72
	前期比 増減率	+ 25.3%	+ 46.4%	+ 21.2%	—	+ 15.3%
経常利益		14,113	2,535	230	△0	547
四半期純利益		10,719	1,913	149	△0	356

45

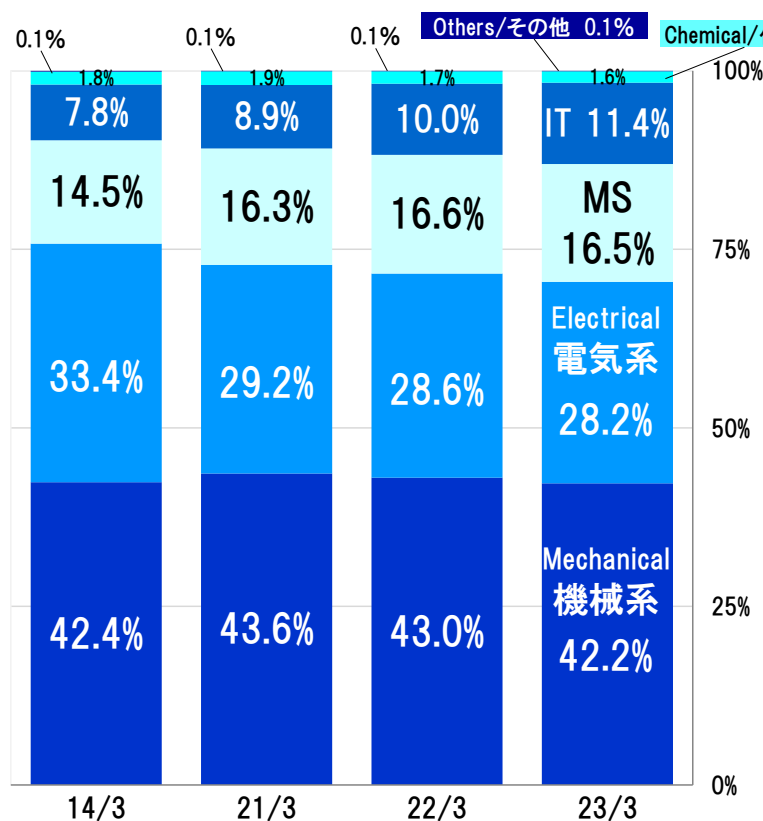
2024年3月期業績予想 各社別

		エンジニアリングソリューション事業				エンジニア紹介事業
(百万円)		メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト
売上高		87,500	34,000	3,500	340	1,550
	前期比 増減額	+ 3,734	+ 3,528	+ 168	+ 5	▲131
	前期比 増減率	+ 4.5%	+ 11.6%	+ 5.1%	+ 1.8%	▲7.8%
営業利益		13,200	2,850	230	0	500
	前期比 増減額	▲12	+ 315	—	—	▲47
	前期比 増減率	▲0.1%	+ 12.4%	▲0.0%	—	▲8.6%
経常利益		14,400	2,850	230	0	500
当期純利益		10,300	1,950	140	0	310

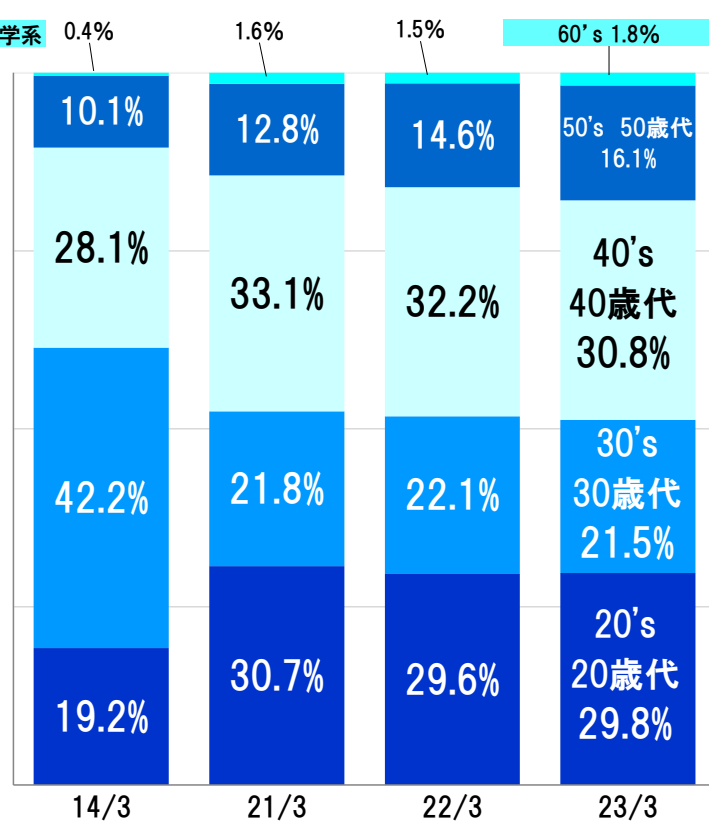
46

エンジニアの構成 メイテック

技術分野/Technical field



年齢/According to age

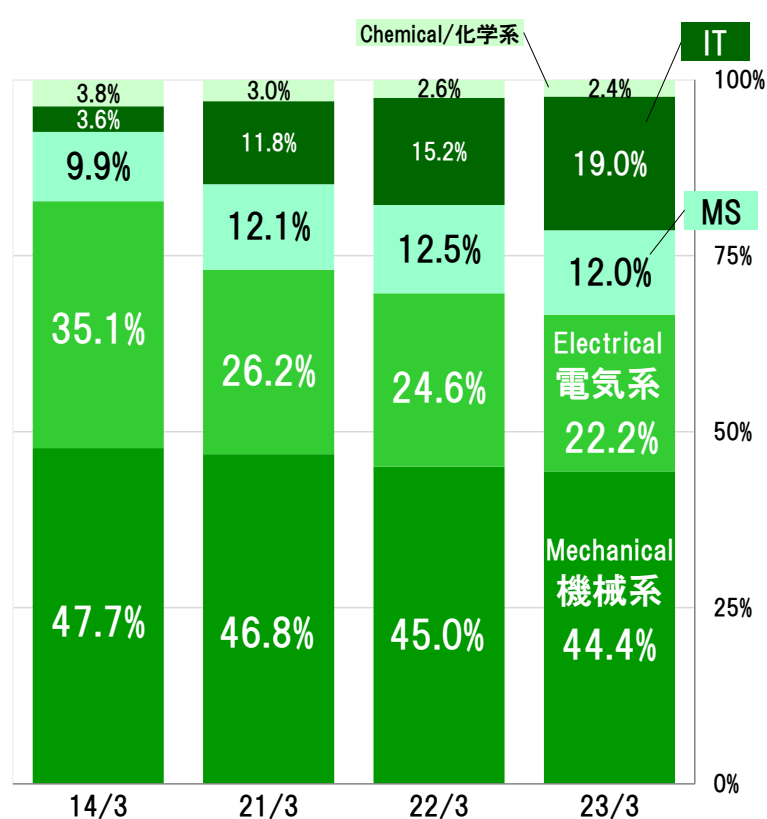


MS: Micro Computer System

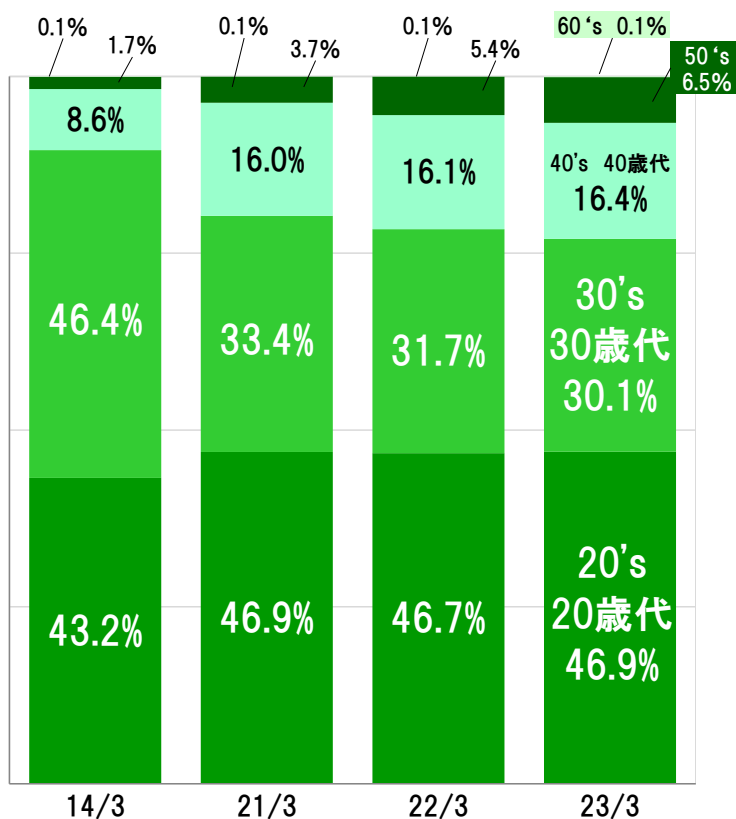
47

エンジニアの構成 メイテックフィルダーズ

技術分野/Technical field



年齢/According to age



MS: Micro Computer System

48

業種別売上高推移 メイテック

(百万円)

メイテック	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車・輸送機器関連(航空機を除く)	22,214	22,513	20,239	21,161	22,769	27.2%	+1,608	+7.6%
航空機・ロケット関連	4,646	4,636	4,084	3,936	4,198	5.0%	+261	+6.7%
産業用機器、機械器具および装置関連	10,425	10,544	9,373	10,154	11,101	13.3%	+947	+9.3%
精密機器関連	6,389	7,069	7,516	8,339	9,139	10.9%	+800	+9.6%
情報通信機器関連	3,831	3,615	3,604	3,658	3,623	4.3%	△ 35	△1.0%
電気・電子機器、電気機械器具設計	8,172	7,831	7,119	7,437	8,156	9.7%	+719	+9.7%
半導体・集積回路関連	4,159	3,962	4,107	4,636	4,990	6.0%	+353	+7.6%
半導体製造装置関連	2,649	2,698	2,942	3,372	3,897	4.7%	+525	+15.6%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	5,347	5,778	5,871	6,964	7,996	9.5%	+1,032	+14.8%
プラント関連	2,608	2,823	2,664	2,878	3,107	3.7%	+229	+8.0%
建築関連	357	295	290	357	374	0.4%	+16	+4.5%
その他	3,234	3,526	3,638	4,113	4,409	5.3%	+296	+7.2%
合計	74,036	75,297	71,452	77,010	83,765	100.0%	+6,754	+8.8%

49

業種別売上高推移 メイテックフィルダース

(百万円)

メイテックフィルダース	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年3月期			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車・輸送機器関連(航空機を除く)	6,406	6,761	6,117	6,996	7,849	25.8%	+853	+12.2%
航空機・ロケット関連	359	401	397	420	393	1.3%	△ 27	△6.5%
産業用機器、機械器具および装置関連	3,280	3,984	4,012	4,699	5,764	18.9%	+1,064	+22.7%
精密機器関連	2,395	2,709	2,838	3,375	3,654	12.0%	+279	+8.3%
情報通信機器関連	693	782	644	629	685	2.2%	+55	+8.8%
電気・電子機器、電気機械器具設計	2,169	2,231	2,191	2,549	3,108	10.2%	+558	+21.9%
半導体・集積回路関連	690	702	731	882	1,087	3.6%	+205	+23.3%
半導体製造装置関連	1,311	1,351	1,163	1,476	1,826	6.0%	+349	+23.6%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	513	766	1,142	1,881	2,693	8.8%	+812	+43.2%
プラント関連	601	710	922	1,079	1,139	3.7%	+60	+5.6%
建築関連	103	11	9	27	48	0.2%	+20	+74.7%
その他	809	969	1,136	1,795	2,220	7.3%	+425	+23.7%
合計	19,336	21,383	21,308	25,814	30,471	100.0%	+4,657	+18.0%

50

業績推移 グループ連結

(百万円)	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
売上高	79,898	53,776	61,790	66,955	70,330	74,906	82,136	87,888	89,979	93,618	97,736	100,995	96,626	107,140	119,069
売上原価	57,177	46,765	48,832	49,875	51,639	55,370	60,481	64,661	66,417	69,250	71,701	73,823	72,203	78,917	86,360
原価率	71.6%	87.0%	79.0%	74.5%	73.4%	73.9%	73.6%	73.6%	73.8%	74.0%	73.4%	73.1%	74.7%	73.7%	72.5%
売上総利益	22,720	7,010	12,957	17,079	18,691	19,536	21,654	23,227	23,561	24,368	26,035	27,171	24,422	28,223	32,708
販売費及び一般管理費	13,439	11,939	10,337	11,629	12,337	12,556	12,114	12,352	12,418	12,910	13,399	14,245	14,188	15,405	16,245
販管費率	16.8%	22.2%	16.7%	17.4%	17.5%	16.8%	14.7%	14.1%	13.8%	13.8%	13.7%	14.1%	14.7%	14.4%	13.6%
営業利益	9,280	▲4,928	2,620	5,450	6,354	6,979	9,540	10,874	11,142	11,458	12,635	12,926	10,234	12,817	16,462
営業利益率	11.6%	▲9.2%	4.2%	8.1%	9.0%	9.3%	11.6%	12.4%	12.4%	12.2%	12.9%	12.8%	10.6%	12.0%	13.8%
営業外収益	87	4,729	2,146	114	97	50	113	29	20	19	15	55	81	144	89
営業外費用	107	77	178	32	24	51	10	58	17	11	7	6	9	13	11
経常利益	9,260	▲276	4,588	5,531	6,427	6,978	9,643	10,845	11,145	11,465	12,643	12,975	10,306	12,948	16,540
経常利益率	11.6%	▲0.5%	7.4%	8.3%	9.1%	9.3%	11.7%	12.3%	12.4%	12.2%	12.9%	12.8%	10.7%	12.1%	13.9%
特別利益	13	32	378	—	58	—	20	1,084	31	337	26	—	—	—	—
特別損失	1,094	130	234	4	215	146	3,621	65	45	262	18	3	4	5	3
税金等調整前当期純利益	8,178	▲374	4,732	5,526	6,270	6,832	6,041	11,865	11,131	11,541	12,651	12,971	10,301	12,942	16,537
税金費用等	3,875	530	1,041	2,699	277	2,858	2,381	3,781	3,193	3,409	3,822	3,878	3,272	3,701	4,285
親会社株主に帰属する当期純利益	4,303	▲904	3,690	2,827	5,993	3,973	3,659	8,083	7,937	8,132	8,829	9,093	7,028	9,240	12,252
純利益率	5.4%	▲1.7%	6.0%	4.2%	8.5%	5.3%	4.5%	9.2%	8.8%	8.7%	9.0%	9.0%	7.3%	8.6%	10.3%

51

業績推移 メイテック

(百万円)	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
売上高	60,457	41,319	48,260	53,188	55,822	58,876	64,675	68,878	70,083	72,252	74,036	75,297	71,452	77,010	83,765
売上原価	43,109	36,074	38,777	39,987	41,240	43,742	47,857	50,884	52,013	53,861	54,620	55,138	53,438	56,503	60,117
原価率	71.3%	87.3%	80.4%	75.2%	73.9%	74.3%	74.0%	73.9%	74.2%	74.5%	73.8%	73.2%	74.8%	73.4%	71.8%
売上総利益	17,348	5,245	9,482	13,200	14,582	15,134	16,817	17,994	18,069	18,391	19,416	20,159	18,014	20,507	23,648
販売費及び一般管理費	8,540	8,210	7,758	8,587	9,179	9,382	8,891	8,932	8,856	9,048	9,258	9,776	9,414	9,960	10,436
販管費率	14.1%	19.9%	16.1%	16.1%	16.4%	15.9%	13.7%	13.0%	12.6%	12.5%	12.5%	13.0%	13.2%	12.9%	12.5%
営業利益	8,807	▲2,964	1,724	4,613	5,402	5,751	7,925	9,061	9,213	9,342	10,157	10,382	8,600	10,546	13,212
営業利益率	14.6%	▲7.2%	3.6%	8.7%	9.7%	9.8%	12.3%	13.2%	13.1%	12.9%	13.7%	13.8%	12.0%	13.7%	15.8%
営業外収益	564	3,840	1,976	389	314	426	523	517	601	769	769	913	956	592	913
営業外費用	76	53	150	14	19	426	10	52	16	6	6	5	8	13	11
経常利益	9,294	822	3,550	4,988	5,698	6,149	8,438	9,526	9,798	10,105	10,921	11,290	9,547	11,125	14,113
経常利益率	15.4%	2.0%	7.4%	9.4%	10.2%	10.4%	13.0%	13.8%	14.0%	14.0%	14.8%	15.0%	13.4%	14.4%	16.8%
特別利益	7	2	3	—	462	—	324	1,088	200	364	16	—	—	—	—
特別損失	2,912	626	318	66	228	372	3,673	50	222	261	52	2	4	5	3
税引前当期純利益	6,389	197	3,236	4,921	5,932	5,776	5,089	10,563	9,776	10,208	10,885	11,287	9,542	11,120	14,110
税金費用等	3,391	144	1,094	2,331	▲124	2,352	1,749	3,171	2,702	2,747	3,117	3,174	2,719	3,068	3,391
当期純利益	2,998	53	2,141	2,590	6,056	3,425	3,340	7,391	7,073	7,461	7,768	8,112	6,823	8,051	10,719
純利益率	5.0%	0.1%	4.4%	4.9%	10.8%	5.8%	5.2%	10.7%	10.1%	10.3%	10.5%	10.8%	9.5%	10.5%	12.8%

52

業績推移 メイテックフィルダース

(百万円)	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
売上高	10,582	7,050	8,175	8,510	9,349	10,587	11,911	13,327	14,865	16,981	19,336	21,383	21,308	25,814	30,471
売上原価	7,744	6,621	6,361	6,387	7,061	8,084	9,154	10,288	11,540	13,173	14,941	16,476	16,542	20,015	23,561
原価率	73.2%	93.9%	77.8%	75.1%	75.5%	76.4%	76.9%	77.2%	77.6%	77.6%	77.3%	77.1%	77.6%	77.5%	77.3%
売上総利益	2,837	429	1,814	2,122	2,287	2,502	2,757	3,039	3,325	3,808	4,394	4,906	4,765	5,798	6,910
販売費及び一般管理費	2,018	1,890	1,238	1,585	1,639	1,646	1,682	1,834	1,978	2,351	2,660	2,962	3,586	4,067	4,375
販管費率	19.1%	26.8%	15.1%	18.6%	17.5%	15.5%	14.1%	13.8%	13.3%	13.8%	13.8%	13.9%	16.8%	15.8%	14.4%
営業利益	819	▲1,461	575	537	648	856	1,073	1,204	1,346	1,456	1,734	1,944	1,178	1,731	2,534
営業利益率	7.7%	▲20.7%	7.0%	6.3%	6.9%	8.1%	9.0%	9.0%	9.1%	8.6%	9.0%	9.1%	5.5%	6.7%	8.3%
営業外収益	6	848	182	3	3	1	—	—	1	—	1	1	—	1	—
営業外費用	—	5	1	—	—	15	—	—	1	4	—	—	2	—	—
経常利益	825	▲618	757	540	651	841	1,074	1,205	1,346	1,452	1,735	1,945	1,177	1,732	2,535
経常利益率	7.8%	▲8.8%	9.3%	6.3%	7.0%	7.9%	9.0%	9.0%	9.1%	8.6%	9.0%	9.1%	5.5%	6.7%	8.3%
特別利益	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
特別損失	13	2	1	—	—	—	5	7	—	—	—	—	—	—	—
税引前当期純利益	811	▲620	756	540	651	841	1,068	1,198	1,346	1,453	1,735	1,945	1,177	1,732	2,535
税金費用等	344	313	▲187	264	272	358	420	412	301	422	444	484	370	395	621
当期純利益	467	▲933	943	275	378	483	648	786	1,045	1,031	1,291	1,461	805	1,337	1,913
純利益率	4.4%	▲13.2%	11.5%	3.2%	4.0%	4.6%	5.4%	5.9%	7.0%	6.1%	6.7%	6.8%	3.8%	5.2%	6.3%

53

業績推移 メイテックネクスト

(百万円)	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
売上高	480	334	438	593	734	872	1,131	1,321	1,483	1,662	1,762	1,639	1,216	1,530	1,681
売上原価															
原価率															
売上総利益	480	334	438	593	734	872	1,131	1,321	1,483	1,662	1,762	1,639	1,216	1,530	1,681
販売費及び一般管理費	559	349	333	446	512	577	746	887	966	1,116	1,203	1,204	942	1,055	1,134
販管費率	116.5%	104.5%	76.0%	75.2%	69.8%	66.2%	66.0%	67.1%	65.1%	67.2%	68.2%	73.5%	77.5%	69.0%	67.5%
営業利益	▲78	▲14	104	147	221	295	385	433	517	545	559	434	273	474	547
営業利益率	▲16.3%	▲4.2%	23.7%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%	32.8%	34.9%	32.8%	31.8%	26.5%	22.5%	31.0%	32.5%
営業外収益	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0
営業外費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	0	—
経常利益	▲78	▲12	106	147	221	295	385	433	517	545	559	432	274	474	547
経常利益率	▲16.3%	▲3.6%	24.2%	24.8%	30.1%	33.8%	34.0%	32.8%	34.9%	32.8%	31.7%	26.4%	22.5%	31.0%	32.5%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前当期純利益	▲78	▲13	106	147	221	295	385	433	517	544	559	432	274	474	547
税金費用等	1	—	—	—	19	95	141	145	182	193	198	152	96	169	190
当期純利益	▲79	▲14	105	147	201	200	243	288	334	350	361	279	177	305	356
純利益率	▲16.5%	▲4.2%	24.0%	24.8%	27.4%	22.9%	21.5%	21.8%	22.6%	21.1%	20.5%	17.1%	14.6%	20.0%	21.2%

54

バランスシート推移 グループ連結

(百万円)	2008/3/31	2009/3/31	2010/3/31	2011/3/31	2012/3/31	2013/3/31	2014/3/31	2015/3/31	2016/3/31	2017/3/31	2018/3/31	2019/3/31	2020/3/31	2021/3/31	2022/3/31	2023/3/31
現金・預金	18,512	18,526	14,732	23,999	26,686	26,592	30,104	34,773	35,413	37,259	41,753	45,052	47,033	45,132	49,706	51,028
受取手形・売掛金	12,841	10,985	9,582	10,245	10,675	10,887	11,297	12,858	13,823	13,400	13,816	13,884	14,696	14,600	16,098	17,354
流動資産合計	35,356	33,295	28,444	37,661	40,643	41,802	44,998	51,639	53,104	54,742	59,325	60,036	62,679	60,885	66,937	69,484
有形固定資産	13,374	12,818	12,069	11,688	11,257	10,908	10,555	7,207	5,721	5,552	5,399	5,402	5,332	5,122	5,002	4,785
固定資産合計	22,428	20,934	19,180	18,053	16,915	16,199	16,447	13,458	11,363	11,634	11,608	14,579	14,814	14,153	14,652	15,091
資産合計	57,784	54,230	47,625	55,714	57,559	58,002	61,445	65,098	64,468	66,377	70,934	74,615	77,493	75,038	81,590	84,576
流動負債合計	13,764	11,026	6,392	10,016	11,165	9,683	12,589	15,797	13,650	14,662	16,176	16,927	17,228	14,272	19,669	20,824
固定負債合計	6,422	7,034	7,789	8,603	9,183	9,895	12,667	11,735	13,212	13,860	14,617	15,317	15,937	16,294	16,633	17,032
負債合計	20,186	18,061	14,181	18,619	20,349	19,579	25,257	27,532	26,862	28,523	30,794	32,244	33,166	30,566	36,302	37,856
株主資本	38,048	36,747	34,101	37,745	38,017	39,264	38,299	39,619	39,973	39,970	42,078	44,173	45,950	45,898	46,457	47,671
その他	▲449	▲577	▲658	▲651	▲808	▲841	▲2,111	▲2,054	▲2,367	▲2,116	▲1,939	▲1,802	▲1,623	▲1,426	▲1,169	▲951
純資産合計	37,598	36,169	33,443	37,094	37,209	38,422	36,188	37,565	37,605	37,854	40,139	42,371	44,327	44,472	45,287	46,719

営業活動CF	8,486	6,308	▲1,545	9,291	5,753	5,205	8,893	8,434	6,910	10,186	10,957	10,273	9,837	5,487	13,532	12,808
投資活動CF	124	623	▲19	287	▲292	▲465	▲398	▲275	1,487	▲325	▲464	▲240	▲536	▲307	▲270	▲446
財務活動CF	▲5,997	▲5,580	▲1,835	▲104	▲2,769	▲4,837	▲4,991	▲3,495	▲7,752	▲8,011	▲5,999	▲6,734	▲7,319	▲7,080	▲8,688	▲11,040
現預金の増減額	+2,634	+1,313	▲3,394	+9,467	+2,691	▲93	+3,511	+4,668	+643	+1,845	+4,493	+3,298	+1,980	▲1,900	+4,574	+1,321

55

利益配分実績と予想

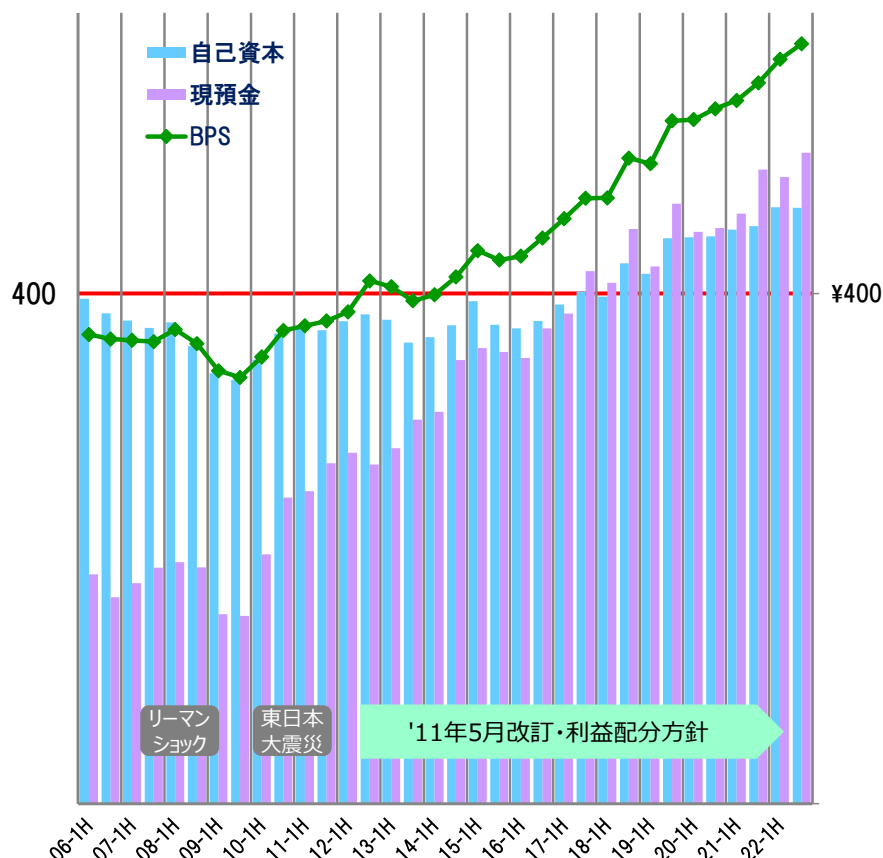
実績												予想	
(百万円未満・四捨五入)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
総還元性向(連結)	99.0%	101.2%	116.8%	100.0%	100.1%	80.0%	80.0%	80.0%	100.1%	100.1%	100.1%	100.7%	
※1配当性向(連結)	52.3%	55.9%	92.2%	53.0%	54.7%	61.6%	63.1%	61.3%	71.6%	63.3%	65.8%	60.7%	
純資産配当率(連結)	8.4%	6.0%	9.2%	11.4%	11.6%	12.9%	13.6%	12.9%	11.4%	13.1%	17.6%		
※2年間配当	1株当たり	@¥33.00	@¥24.00	@¥37.00	@¥48.00	@¥50.50	@¥59.00	@¥66.50	@¥67.33	@¥61.33	@¥72.50	@¥102.00	@¥89.00
	金額(百万円)	3,134	2,220	3,373	4,286	4,344	5,008	5,567	5,575	5,033	5,848	8,065	6,980
※2中間配当	1株当たり	@¥10.00	@¥10.50	@¥14.67	@¥21.00	@¥22.67	@¥24.83	@¥28.00	@¥28.83	@¥22.83	@¥26.17	@¥39.00	@¥40.00
	金額(百万円)	981	983	1,344	1,908	1,968	2,119	2,344	2,387	1,891	2,136	3,125	3,137
※2期末配当	1株当たり	@¥23.00	@¥13.50	@¥22.33	@¥27.00	@¥27.83	@¥34.17	@¥38.50	@¥38.50	@¥38.50	@¥46.33	@¥63.00	@¥49.00
	金額(百万円)	2,153	1,237	2,029	2,378	2,375	2,889	3,223	3,188	3,143	3,713	4,941	3,843
自己株式取得	株数(千株)	1,506	641	269	921	915	257	280	303	390	500	1,704	
	金額(百万円)	2,800	1,800	899	3,799	3,600	1,500	1,500	1,700	2,000	3,399	4,200	4,600
総利益配分額 (百万円)	5,934	4,020	4,273	8,086	7,944	6,508	7,067	7,275	7,033	9,248	12,265	11,580	
株式消却	株数(千株)	1,700	500	300	900	1,300	700	300	400	500	1,800		
株価	期初4月1日	¥560	¥731	¥952	¥1,322	¥1,288	¥1,502	¥1,987	¥1,710	¥1,355	¥2,013	¥2,220	¥2,363
	期末3月31日	¥781	¥977	¥1,342	¥1,312	¥1,507	¥1,963	¥1,677	¥1,433	¥2,037	¥2,217	¥2,364	
当期純利益 (百万円)	5,993	3,974	3,660	8,084	7,937	8,132	8,829	9,093	7,029	9,241	12,253	11,500	
※2 1株当たり当期純利益	@¥62.03	@¥42.77	@¥40.04	@¥89.75	@¥91.44	@¥95.55	@¥105.14	@¥109.45	@¥85.26	@¥113.85	@¥153.87	@¥146.64	
※2 1株当たり純資産	@¥409.87	@¥394.28	@¥412.93	@¥426.20	@¥443.52	@¥474.67	@¥506.14	@¥535.34	@¥544.81	@¥565.21	@¥595.74		

※1：配当性向は、還元額を当期純利益額で割り算した率を表示

※2：1株当たり指標は、2022年7月1日効力発生の株式分割後（1株につき3株）の株式数を基準に算定

56

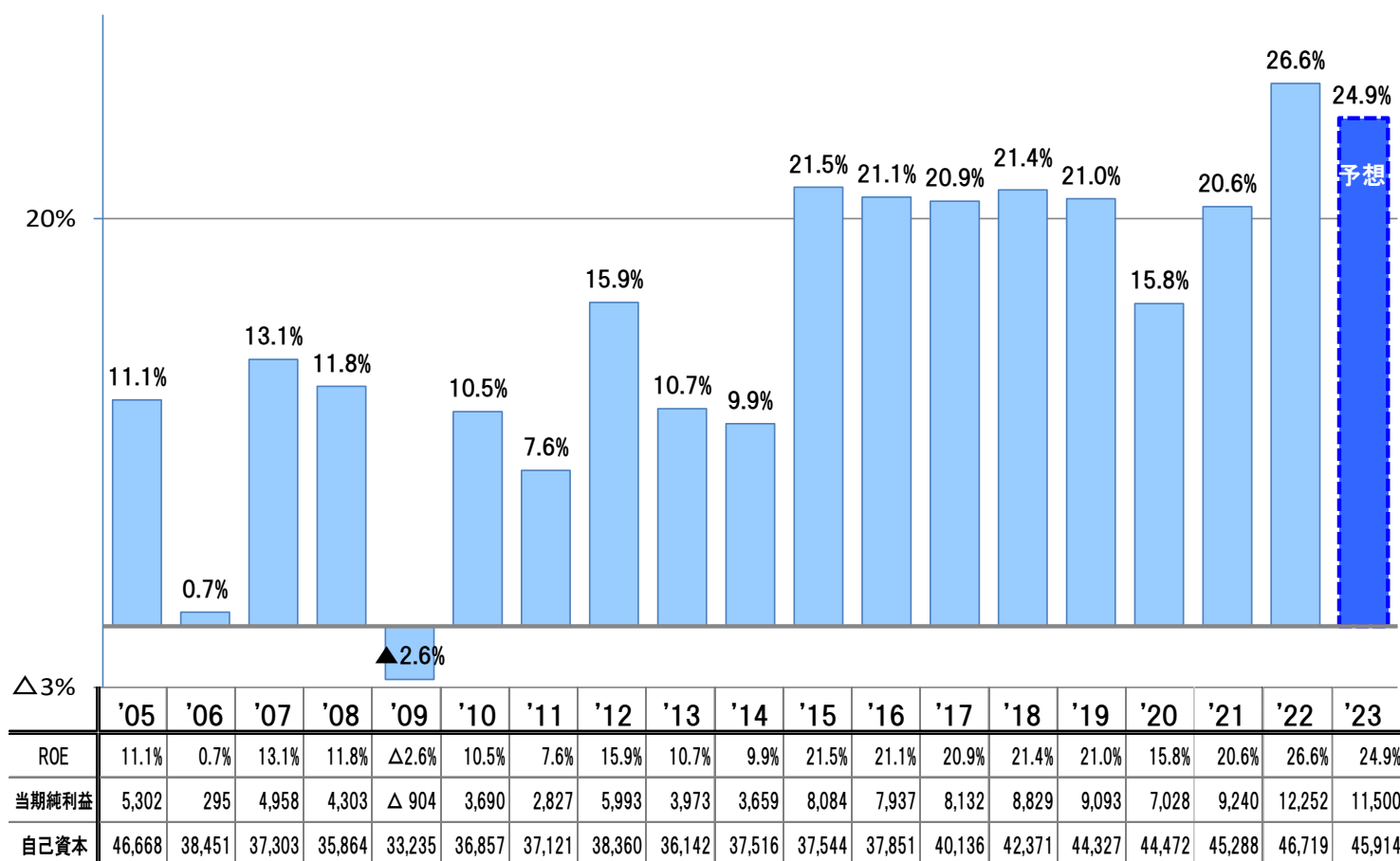
(億円)



- ・無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠
→エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- ・そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

57

連結自己資本当期純利益率:ROE



58

一社でも多くのお客さまに、
一人でも多くのエンジニアに、
メイテックグループを活用いただき、
感動や喜びを実感できる
「機会と場」の拡大を目指します。

代表取締役社長
メイテックグループCEO

國分 秀世

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

グループの目指すべき姿～5つの価値

人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

私たちメイテックグループは、全社員がつながりあい、
エンジニア価値を起点として、5つの価値を持続的に向上させます

〔経営理念〕
共生と繁栄

〔コーポレートスローガン〕
人と技術で次代を拓く

顧客価値
すべてのお客さまから信頼される
ベストパートナーを目指し、
最適な「人と技術」のサービス
を提供し続けます

社会価値
生涯プロエンジニアという働き方の
確立を通じて、日本に
「プロフェッショナルな労働市場」を
創り出す先駆者であり続けます

エンジニア価値
豊かな「エンジニア人生」を目指す
すべてのエンジニアに対して、
最適な「機会と場」を
提供し続けます

社員価値
「自立と支えあい」に共感し、
プロフェッショナルとして成長続ける
社員に対して、最適な「機会と場」を
提供し続けます

株主価値
持続的な価値向上に基づく
「健全な利益」を創出し、
中長期的に株主還元を最大化します

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

エンジニアに豊かな「エンジニア人生」を提供し、
お客さまにとって欠かせない真の「ベストパートナー」を実現していく存在でありたい。

今まで「人と技術で次代を拓いてきた」私たちだからこそ、今、
そしてこれからもエンジニア採用市場・労働市場と設計・開発業務市場の
双方において、“核心”を担える集団であり続けます。



61

Engineering Firm

メイテックグループの社員一人ひとりが
「自立と支え合い」の精神でお互いを高め合い、
成長し続けるエンジニアのプロフェッショナル集団であること

The Core

製造業の技術革新において、「大事な、欠かせない」価値を
創り出す存在であること

世の中のエンジニアが職業を軸に働き続ける上で、
「大事な、欠かせない」働き方を提供できる存在であること

62

Engineering Firm at The Core

私たちは「人と技術」でものづくりの核心を担う、
エンジニア集団です

E 環境	S 社会	G ガバナンス
9 産業と技術革新の基盤をつくろう  - 技術革新を推進し、環境・エネルギー等の課題解決に貢献 - 技術革新とイノベーションを推進し産業と経済成長に貢献	8 働きがいも経済成長も  プロフェッショナルな労働市場の創出を通じて、持続可能な経済成長に貢献	4 質の高い教育をみんなに  高度な技術教育と生涯学習の促進 5 ジェンダー平等を實現しよう  国籍・性別・年齢に関わらず、公平な「機会と場」の提供 16 平和と公正をすべての人に  グループCG方針 社員行動規範の遵守徹底

63

社会課題の解決に向けて取り組む目標(補足説明)

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



人と技術で次代を拓く
MEITEC
Engineering Firm at The Core

〔経営理念〕
共生と繁栄

8 働きがいも経済成長も



私たちエンジニア集団は、お客さまの開発業務を通じて、
お客さまと共に、社会課題の解決に取り組めます

多くのお客さまで共通するマテリアリティ

3 すべての人に健康と福祉を



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



17 パートナリシップで目標を達成しよう



64

株主セグメント	2023年3月31日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	7	0.1%	280,900	0.3%
信託銀行	11	0.2%	20,238,000	24.5%
生保・損保会社	22	0.4%	10,007,699	12.1%
証券金融・その他金融会社	3	0.1%	234,180	0.3%
証券会社	37	0.6%	1,257,272	1.5%
事業会社・その他法人	68	1.2%	454,933	0.6%
外国法人・外国人	254	4.5%	38,281,711	46.4%
個人その他	5,293	92.9%	11,745,305	14.2%
合計	5,695	100.0%	82,500,000	100.0%

会社概要 **メイテック**

本 社	東京都台東区
本 店	愛知県名古屋市西区
証券コード	9744(東証プライム)
設 立	1974年(昭和49年)7月17日
取 引 先	上場企業および優良中堅企業約1,400社
営 業 拠 点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市42拠点
グ ル ー プ 会 社	【エンジニアリングソリューション事業】 ■ 株式会社メイテックフィルダーズ ■ 株式会社メイテックキャスト ■ 株式会社メイテックEX ■ 株式会社メイテックビジネスサービス 【エンジニア紹介事業】 ■ 株式会社メイテックネクスト